

Beyond Limits. Unlock Our Potential.
世界に伍するスタートアップ・エコシステム拠点形成計画

コンソーシアム等の名称：北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム

はじめに 本コンソーシアムが目指す将来像

【北九州市の特色】

- (1) 様々な研究開発プロジェクトを推進する北九州学術研究都市 【P21,22参照】
 - ・地域イノベーションクラスタープログラム 総事業費約 80億円
 - ・知的クラスター創生事業 総事業費約 25億円
 - ⇒ 産学連携による研究開発支援企業の関連製品売上 約356億円
- (2) 北九州産業学術推進機構(FAIS) やCOMPASS小倉によるスタートアップ支援 【P28参照】
- (3) 鉄鋼業やロボット産業など、大企業、中堅、中小企業まで層の厚い企業群の集積
 - ・鉄鋼業の製造品出荷額: 政令市1位
 - ・ロボットの製造品出荷額: 政令市2位
- (4) エコタウン事業を核とした実証研究エリアの提供や環境関連産業の集積と、環境、水分野をはじめとした歴史あるアジア展開の実績
 - ・環境、水分野の海外ビジネス受注額 約350億円 【P9, 15参照】

- (5) 「革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命実現プロジェクト」の推進 【P10参照】

【課題】

- (1) ユーザー目線での技術・製品開発の不足
- (2) スケールアウト企業の実績が僅少
- (3) テック系スタートアップは製品化まで長いスパンでの支援が必要
- (4) 近年、市内の産業群の製造品出荷額が約2兆円で横ばい傾向
- (5) 企業と行政との連携のもと進めている環境・水ビジネスとスタートアップの連携の拡大

【コンソーシアム形成のポイント】

- (1) マーケットを見据えた製品開発支援の体制構築
- (2) スケールアウトのためのノウハウの蓄積、人材の育成・招聘
- (3) スタートアップを長期的に支援できる体制構築
- (4) スタートアップと市内企業が共に成長する連携体制の構築
- (5) 行政が培った海外諸都市との友好ネットワークと、企業がもつ海外ビジネスネットワークとの融合

【本コンソーシアムが目指す将来像】

・強みの「環境・ロボット」やDX分野を核にテック系エコシステム拠点都市を形成

- ・大学や高専などから技術と経営の知見を備えたスタートアップを生み出すまち【P25参照】
- ・介護とロボットの融合をはじめとした、新産業の創出と生活スタイルを実現するまち【P10参照】
- ・スタートアップが市内企業との連携で既存産業のアップデートを行い、イノベーションを生み出すまち【P11参照】
- ・技術を活かして日本だけでなく、世界の社会課題の解決に取り組むまち【P15参照】

【スケールアウトのエンジン】

・民間主体の実行委員会 (グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会) によるスケールアウト支援【P17参照】

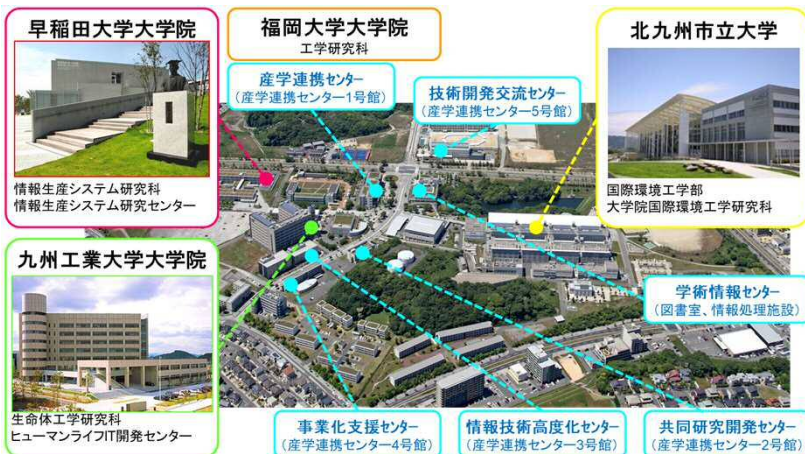
- ・市内大手ものづくり企業、全国大手の金融機関やVCの参画 (14社) と、スタートアップ支援の知見が豊富なメンター等による徹底的な伴走支援
- ・市内グローバル企業のネットワークの活用と環境、水ビジネスで培ったアジア展開のネットワークを活用したグローバル展開支援

I. エコシステム形成推進主体について

これまでの北九州市における産学連携の取組みの分析

- 2001年にアジアの先端産業都市の実現を図るため、**北九州学術研究都市**を整備。本学研では、国(九州工業大学)、公(北九州市立大学)などが同一キャンパスで活動し相互連携により**イノベーションを加速**。多くの研究員が在籍するなど大きく発展。
- 学研都市における産学連携のコーディネートや研究成果の事業化支援等を**(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)**が実施。
- 「北九州産業学術推進機構 今後のあり方に関する研究会 報告書(2014年7月)」で、学研都市の発展と研究開発支援の相乗効果により、産業振興が図られたという評価がある一方、「**一定規模の事業になるまでには息の長い支援が必要**」、「**研究開発プロジェクトの事業化率は高いが大きな売上になる事例などは多くない**」、「**全国、海外に広く販路を求めることも必要**」、「**国、県、市とも連携した事業化後のフォローが重要**」といった課題が提示され、研究開発のあり方以上に事業化後のスケールアウトに関する課題が示された。
- 近年、本市においても大企業とスタートアップとの**オープンイノベーション**や、**コワーキング施設を通じた協業**など、様々なスタートアップ支援・連携の流れが加速化。
- 本市以外の日本や世界で形成されているエコシステムに目を向けると、例えば中国の深圳では「^{テンセント}Tencent」や「^{ファーウェイ}Huawei」などのエレクトロニクス系の企業が立地し、優秀な人材が集積することによりエコシステムが形成。

北九州学術研究都市に集積する大学等



北九州学術研究都市の代表的な成果と課題

FAIS「中小企業産学官連携研究開発助成」 これまでの本市の産学連携の課題提起

(株)フジコー
『高性能殺菌・消臭光触媒製品』
(消臭・殺菌フロアタイル、空気消臭・殺菌装置)

第1回ものづくり日本大賞「優秀賞」受賞
第4回ものづくり日本大賞「特別賞」受賞



- ・息の長い事業化支援
- ・大きな売上を見据えた事業化支援
- ・全国・海外への販路拡大支援
- ・国、県、市とも連携した事業化後のフォロー

特に民間が得意とする
「事業戦略構築」、「財務や販路拡大」
の支援の重要性が提起

市内外から「事業戦略構築」、
「財務や販路拡大」の知見を集め、
スタートアップ支援に反映

- FAIS支援により経産省の研究開発助成に採択
(平成20～21年度)
- 市産業用地を取得し新工場を竣工(平成25年4月)
- G7北九州エネルギー大臣会合で、主要国大臣に渡される記念品に、同社の空気消臭除菌装置が採用
(平成28年5月)

(公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS)

【P21,22参照】

～北九州学術研究都市のコーディネーター～

- 理事長: 松永 守央 (前九州工業大学学長)
- 基本財産: 3億8,550万円
(北九州市出捐3億円、民間出捐8,550万円)
- 職員数: 65名 (令和元年5月1日現在)
民間出身27名(出向12名)、市・県派遣13名、事務嘱託等25名

I. エコシステム形成推進主体について

北九州市の資産・強みである「環境・ロボット」分野 磨きをかけて世界のテック系イノベーション拠点に

- 本市は1901年の官営八幡製鉄所の操業開始以降、ものづくりの街として日本の経済成長を牽引。
- 1980年代に深刻な公害問題の克服を契機に**環境国際協力**、**リサイクル政策**や**海外水ビジネス**などを積極的に推進。近年では**SDGs未来都市全国第一号認定**、**OECDによる世界のSDGsモデル都市**に選定されるなど、国内外から高い評価。【P36参照】
- 特に環境、エネルギー関連産業が集積。ロボット分野では、産業用ロボットの世界的メーカーの**(株)安川電機**、数多くのロボティクス研究者を有する**九州工業大学**などが内閣府の交付金を活用し「**革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命プロジェクト**」を推進。

環境・エネルギー・水ビジネスの拠点

公害克服の経験、持続可能な開発、環境保全、国際協力の取組への評価

世界が認める北九州市の環境関連政策 国内外に高い評価

- 国連環境計画(UNEP)「**グローバル500**」受賞(1990年) ※日本の自治体として初
- 国連環境開発会議で「**国連地方自治体表彰**」受賞(1992年)
- ※ 世界で12都市・日本の自治体として唯一
- OECDの「**SDGs推進に向けた世界のモデル都市**」(2018年)に選定
- ※アジア地域で初(世界で10~12都市)



国際協力

カンボジアへの水道技術支援
による「プノンベン」の奇跡



国際ビジネス

姉妹都市 中国・大連市の
環境改善支援(国家主席が本市を視察)



国際ビジネス

ホリスアジアミーティング
【P39参照】

世界のテック系イノベーション拠点に向けた取組

世界への技術展開を可能にする地域資源

ロボット産業の拠点

大規模プロジェクトをエンジンに「ロボット都市」の成功モデルを実現

革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命PJ

- 人と同じ作業ができる自律作業ロボットを含めた**産業用ロボット研究開発**
- 人材育成**、若者の地元定着 ●地域企業への産業用ロボット導入支援

研究開発

(株)安川電機
日本を代表するトップメーカー

九州工業大学
数多くのロボティクス研究者

導入支援

システムインテグレータ

ユーザー企業

(公財)北九州産業学術推進機構

実証モデル製品の提供

好循環

ニーズの提供
検証結果のフィードバック



【推進体制】北九州市・(公財)北九州産業学術推進機構(FAIS)・(株)安川電機
九州工業大学・(株)戸畑ターレット・福銀(北九州銀行協会)

北九州エコタウン(実証研究エリア、総合環境コンビナード)

- 実証研究エリア**
最先端の廃棄物処理技術を始め 資源リサイクル 新エネルギー等、産学官の10の研究施設が集積。廃棄物を使った大規模な実証実験可能
- 総合環境コンビナート**
西日本ペットボトルリサイクル(株) 西日本家電リサイクル(株)等のリサイクル関連企業が集積

国際協力・国際ビジネスで培ったネットワークと技術輸出ノウハウ

- 北九州市アジア低炭素化センターを中心としたネットワーク(北九州環境ビジネス推進会[52社、16機関]を核とする関連企業群、国連環境計画(UNEP)等国際機関との連携)
- 北九州市海外水ビジネス推進協議会のネットワーク(146社、15機関)
- 技術輸出支援の優れたノウハウ
FS調査・開発実証支援、企業間連携による技術のパッケージ化支援、金融支援
経験豊かな専門人材、JICA九州・JETRO北九州との密接な連携体制

北九州市独自の環境技術研究開発助成

- 環境未来技術開発助成制度による研究支援 **6,500万円/R2年度**

関連企業・研究機関・支援機関の集積

- 産ロボPJを軸としたイノベーション創出機運の醸成・地域市場の成長
- ・新たな研究施設 **安川テクノロジーセンタ**の整備(2020年度予定)
- ・産学官の拠点形成推進体 **北九州ロボットフォーラム**の活動(140社・33機関・大学)
- ・**ロボット技術センター(FAIS)**や地域の**Sierネットワーク**

国家戦略特区を活用したロボットの社会実装の取組

- 「**北九州市介護ロボット開発コンソーシアム**」(40社9機関)の実証支援
- インフラ点検ロボットの実証ワンストップ支援

九工大等と連携した研究開発・高度人材の育成

- ロボティクス研究開発の拠点 九工大の学内組織「**オープンイノベーション推進機構**」(2020年4月始動)と連携した専門人材マッチングや共同研究・実証実験の促進
- 学研都市3大学(北九大、九工大、早稲田)による「**カーロボ連携大学院**」など、先端技術の研究者や地域企業の若手エンジニア、学生が集い育つ環境を整備

北九州市独自の研究開発助成 **7,700万円/R2年度**

- FAIS研究開発プロジェクト 約5,500万円 中小企業技術開発助成 約2,200万円

I. エコシステム形成推進主体について



本コンソーシアムが 目指す将来像 **強みの「環境・ロボット」やDX分野を核にテック系エコシステム拠点都市を形成**
SDGs未来都市実現を目標に、ロボット産業などの産業集積や北九州学術研究都市の研究機関との連携を軸にスタートアップを支援

- コンソーシアムの会長は国(内閣府)の「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」会長もつとめる**北橋 健治 北九州市長**。**産業用ロボット、介護ロボット**などの本市のプロジェクトへのスタートアップの参画を支援するだけでなく、環境・水道分野で築いたアジアなどの海外ネットワークを活かし、スタートアップのグローバル展開を**トップセールス**。**スタートアップの力で世界のSDGs達成に寄与**。
- 加えて、民間主体で「**グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会**」を設置。スタートアップへの伴走によるスケールアウト支援、市内大企業との協業やグローバル展開などを強力にサポート。実行委員会会長は、国際ロボット連盟(International Federation of Robotics) 会長などをつとめた、技術者・経営者の**津田 純嗣 (株)安川電機代表取締役会長**が就任。【P17参照】

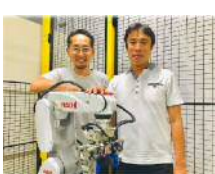
本コンソーシアムが掲げるKPI (2024年度までの累計値)

① ユニコーン創出件数1社 ② 市内スタートアップ件数100社 ③ スタートアップビザ活用件数20件

**リーディング
イノベーター (一例)**
(北九州発スタートアップ)



日本環境設計(株)
服のごみから石油由来原料と同等品質のポリエステル製品の製造



KiQ Robotics
丸工大発ベンチャー
KiQ Robotics(株)
汎用ロボット
ハンドの開発



Reif Dynamics & Design
リーフ(株)
歩行リハビリ支援
ロボットの開発



ONGRIT
オングリット(株)
インフラ点検
ロボ開発



**官民が連携した
強力なスタートアップ支援体制**



北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム会長
北橋 健治 (北九州市長)
本市のポテンシャルをスタートアップ支援にフル活用



「アジアに開かれた学術研究拠点」を目指す北九州学術研究都市



インフラ点検の実証実験



環境・水ビジネスで培った海外ネットワーク (ベトナムの水ビジネス支援)

グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会会長
津田 純嗣 氏 (株式会社安川電機 代表取締役会長)

**民間リソースをフル活用
ユニコーンを目指す起業家を徹底的に育成支援**

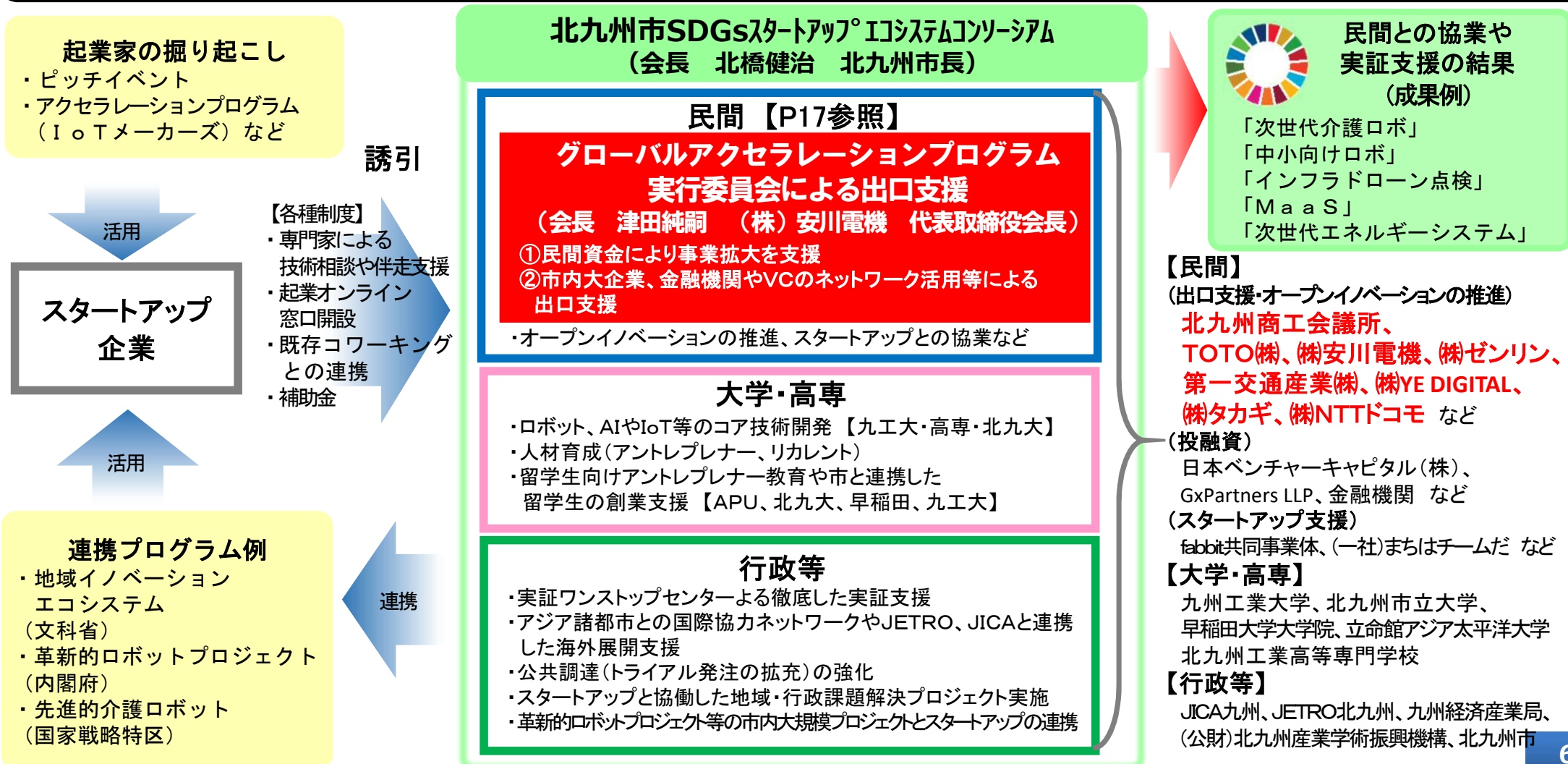
- グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会会員
- ★ 金融機関7社(融資提案)、野村証券(株)、大和証券(株)(アライアンス先の紹介)
 - ★ 日本ベンチャーキャピタル(株)、Gx・PartnersLLP (出資)
 - ★ (株)安川電機(協業、会長職、実行委員会への協賛)
 - ★ TOTO(株)、第一交通産業(株)(協業、実行委員会への協賛)

I. エコシステム形成推進主体について

エコシステムの形成主体の組織構成と役割分担

民間、大学・高専、行政等が一体となって本市から世界のSDGsに資するユニコーンの輩出を目指す

- **民間**は、グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会を組織して**スタートアップへの伴走によるスケールアウト支援**、**市内大企業との協業**などを強力にサポートするとともに、**オープンイノベーション**を推進。
- **大学・高専**はロボットなどの**コア技術開発**や**人材育成**(アントレプレナー、リカレント)に加え、市と連携して**留学生の創業支援**を実施。
- **行政等**は実証ワンストップセンターによる**徹底した実証支援**、**公共調達(トライアル発注の拡充)の強化**、市内大規模プロジェクトとスタートアップの連携に加え、**アジア諸都市との国際協力ネットワーク**やJETRO、JICAと連携した**海外展開支援**を実施。



I. エコシステム形成推進主体について

自治体・民間組織・大学の連携の具体的な方策（国の7つの戦略と本市の計画との相関図）

売上高0円、従業員0人

2億円未満、10人未満

2億円以上、10人以上

30億円以上、50人以上

プレシード

シード

アーリー

ミドル(グロース)

レイター

- ★北九州産業学術研究都市（公財）北九州産業学術推進機構（**戦略2 大学を中心としたエコシステム強化**）
- ・九州工業大学、北九州市立大学、早稲田大学大学院などの理工系の国・公・私立大学や研究機関が集積。
- ・研究開発支援としての令和2年度予算約1億4200万円（**戦略4 Gap Fund**）



学研都市からコーディネータ派遣

研究フィールドの提供・各種支援

各支援メニュー活用

（**戦略2 大学を中心としたエコシステム強化**）

- ★九州工業大学
→ ロボット、宇宙などの学生プロジェクト支援
→ オープンイノベーション機構設立（**戦略6 繋がり形成強化**）
- ★北九州市立大学 →アントレプレナーシップ教育
- ★立命館アジア太平洋大学 →留学生スタートアップ支援
- ★北九州工業高等専門学校
→ 高専起業部の運営、JICAと連携した社会課題解決

大学×民間組織×自治体の連携協定

- ★九州工業大学×（株）YE DIGITAL×市の連携協定（予定）
→ オープンイノベーション人材の育成（**戦略6**）
- ★北九州高専×日本政策金融公庫×市の連携協定
→ 地域の中核的な役割を担う人材の育成

- ★秘密基地 → 創業セミナー開催
- ★fabbit北九州 → IT関連企業の入居促進



大学やコワーキング施設と連携した
スケールが期待される案件掘り起こし（ピッチ登壇等）

- ★創業支援施設COMPASS小倉（指定管理）（**戦略3 アクセラレータ、6 繋がり形成強化**）
→ 創業相談、定期的なピッチイベント開催、アクセラレーションプログラムの実施



全国スタートアップ誘致

実証実験（POC）の支援体制の整備（市）
→ まち全体を実証フィールドとした官民を挙げた支援
（例）自動運転バス、インフラ点検ロボット（ドローン）等



オープンイノベーションイベント開催（**戦略6 繋がり形成強化**）
→ 北九州でIoT、西鉄バスストップ3.0等



官民タッグによるスタートアップ人材確保支援
→ Uターン事業、副業・兼業を通じたCXO人材獲得支援（**戦略7 人材流動化の促進**）

- ★北九州市アジア低炭素化センター
- ★北九州市海外水ビジネス推進協議会
- ★JICA九州、JETRO北九州（**戦略6 繋がり形成強化**）
→ アジア地域を中心としたグローバル展開支援



スタートアップSDGsイノベーショントライアル
→ 市のトライアル発注の拡大（**戦略5 公共調達**）



- ★グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会（**戦略3 アクセラレータ**）
→ （株）安川電機等の地元大手企業、証券会社、金融機関、VCの14社が事業拡大支援プログラムを提供
→ シリーズAの壁（数千万円程度の投資を受けるレベル）を超えるための強力な伴走支援を実施

II. 地方自治体の取組

首長の方針 ～産学官が緊密に連携しSDGsをコンセプトにした日本唯一のスタートアップエコシステムを構築～

○産学官でSDGsに取り組むトッランナー、ものづくり企業の集積といった北九州市の強みを活かすとともに、新たに立ち上げる産学官コンソーシアムのイニシアティブにより、まち全体の支援力を引き上げ、スタートアップの成長を加速化することで、スタートアップから選ばれる都市を目指す。

(1) 総予算額 2020年度

12億円

2021年度以降: 支援施策のフェーズに併せて拡充予定

拠点機能強化

2千3百万円

成長加速 (事業拡大プログラム・研究開発助成)

1億6千万円

創業支援施設運営

1億2千3百万円

経営資源支援

開業支援資金融資

9億円



ピッチ等イベント

年間 100回開催

開業ワンストップセンター
雇用労働相談センター
(国際戦略特区活用)

学生CEO
輩出プロジェクト

次世代産業ロボット等の
先進プロジェクトと連携
したスタートアップ誘致

JETRO等と連携した
海外スタートアップ誘致

ユニコーン
輩出へ

グローバルアクセラレーションプログラム
実行委員会の集中支援【P17参照】

- 将来有望なベンチャーを選抜し、半年間徹底的にビジネスプランをブラッシュアップし、市内大企業等とマッチング。
- VC、証券会社、各銀行がアクセラレーターとして参画。
- メンターとしてデロイトトーマツによる伴走支援を実施。



メンターの伴走支援

まち全体が実証フィールド～官民を挙げた実証支援～【P9参照】

- 産学官のエコシステムコンソーシアムが窓口となり、実証内容に適したチームを編成し実証実験を伴走支援。
- 国家戦略特区を活用する他、市内遊休地、民間企業の協力を得て、実証の内容に合わせて多様なフィールドを提供。また調達・アライアンスのマッチングサービスを実施。



自動運転バスの実証

IoT Makers 創出プロジェクト「北九州でIoT」

- IoTに関する製品アイデアを募り、ものづくりスタートアップの製品事業化を目指す。
- (株)ABBA Lab 小笠原治氏をはじめとする著名メンターや高専と連携したアクセラレーションに加え、市内ファブラボを活用した試作・開発支援など、ものづくりスタートアップを徹底支援。
- 大企業・中堅企業とのオープンイノベーション促進。



インフラ点検ロボ開発
(2018年度採択案件)

本市の強みを活かした海外展開支援【P15参照】

- 国際協力により築いた各国政府等とのネットワークをフル活用し海外展開を支援

【アジア低炭素化センター】

・環境ビジネスの海外展開支援

【海外水ビジネス推進協議会】

・海外水ビジネス展開を目的とした官民連携組織による支援

【廃棄物管理改善事業 (カンボジア)】



- JETRO北九州、JICA九州等と連携した海外企業とのマッチング、大規模展示会出展

先進プロジェクトとの連携

- 北九州市の大規模プロジェクト(次世代産業ロボット、先進的介護システム、環境関連等)との連携による出口支援

官民タッグによるCxO人材獲得支援

- 北九州市のU・Iターン、セカンドキャリア支援プロジェクト、福岡県プロフェッショナル人材センターや、(株)YOUTURNなどの民間サービスのネットワーク強化により高度人材の獲得を支援【P40参照】

8

II. 地方自治体の取組

徹底した国の施策との連携

～北九州のまち全体が実証フィールド 国家戦略特区を活用してイノベーションを生み出すスタートアップ拠点へ～

- **コンソーシアムに参画する民間企業、団体がタッグを組む「チーム北九州」**で実証から出口まで、切れ目ない支援を提供する**「実証ワンストップセンター」の運営体制**を構築。
- **コンソーシアムがコーディネート役**となり、**実証実験をサポート**するとともに、コンソーシアムや参画企業が持つ**アクセラレーションプログラム、ピッチイベント等**を通して、**開発課題をもつ大企業・中堅企業とのマッチング**の機会を併せて提供することでスタートアップにとってより魅力的なフィールドを目指す。
- 特区の活用により、「自動運転」「小型無人機」「IoT、無線通信等の電波利用」などの**高度な産業技術を活用した実証実験**や、**介護ロボット等の社会実装に向けた実証など**、実証フィールド環境を整備。
- 北九州エコタウンに**「実証研究エリア」を整備**し、廃棄物処理技術や新エネルギーなど幅広い環境関連技術の実証を展開。

実証実験に関する20年以上の実績が北九州市の強み

地元住民説明から倫理審査委員会の開催まで事業化に必要な様々な調整事項をフルサポートします

エコタウン事業

(1997年北九州エコタウンプラン策定)

北九州エコタウン実証研究エリア
環境の未来へ向けて数多くの技術が「実証研究エリア」で開発され、成果をあげている。企業、大学など、資源リサイクル、新エネルギーなど幅広い環境関連技術を実証的に研究する施設が集積。



実証ワンストップセンター

【P41参照】

これまでの実績（H30.11～R2.3）
「自動車の自動運転」「小型無人機」
「IoT、無線通信等の電波利用」実施件数

実施団体	実施回数
18団体	134回



3次元地図による
自動飛行実証
(株)ゼンリン

介護ロボットの実証

(国家戦略特区制度の活用)

北九州市介護ロボット開発
コンソーシアムによる実証支援の実績
7分野/14機種
の介護ロボット等を導入

現場ニーズに沿った実用的な技術開発と特区事業効果の最大化に貢献するため、「北九州市介護ロボット開発コンソーシアム」を設置し、ロボット関連技術の開発を行っている。



II. 地方自治体の取組

市内ロボット企業をはじめ、大学、北九州産業学術推進機構、市を中心とした強力な連携

- 北九州地域を世界有数のロボット研究開発拠点へ
 - ・ **北九州市**、産業用ロボットのトップメーカーである**(株)安川電機**、ロボット関連技術に強みをもつ **九州工業大学**、**(公財)北九州産業学術推進機構**が連携し、「**地方大学・地域産業創生交付金**」を活用し**革新的ロボットの研究開発とロボット技術の地域企業への導入を進める「革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり企業の生産性革命実現プロジェクト」**を展開。
 - ・ 2020年度に竣工予定の「**安川テクノロジーセンタ**」では、オープンイノベーションにより研究開発を加速。
 - ・ **九州工業大学大学院**に「**(仮称)ロボットアントレプレナーコース**」を新設。起業家精神と経営能力を備えた実践的な人材を育成。
 - ・ 他にも、国家戦略特区を活用した**介護ロボットの社会実装**や、**社会インフラ等の点検ロボット**開発プロジェクト等を展開。

地方大学・地域産業創生交付金を活用した取組み

革新的ロボットテクノロジーによる「自律作業ロボット」の研究開発(人と同じ作業ができる汎用ロボット)

自律作業ロボット研究開発

安全・安心

ジェスチャー理解

会話理解



教示レス

学習・AI

ビジョン

プランニング

高度な作業能力

柔軟物の把持 多能工 高応答力制御

移動体のマニピュレータ制御

トップ人材招聘

スタートアップのCEOなど九州工業大学特命教授4名を招聘



スティーブ・カズンズ
CEO
(米国サビオーク)



ロルフ・ファイファー
教授
(チューリヒ大学)



比留川 博久
センター長
(産総研)



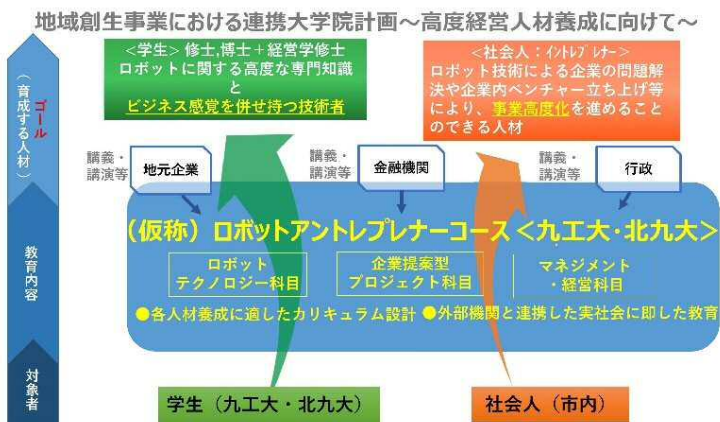
山田 陽滋
教授
(名古屋大)

安川テクノロジーセンタ



オープンイノベーションやトップレベル人材の招聘を通じて、実践的な開発高度人材を育成(2020年度竣工予定)

九州工業大学大学院 (仮称) ロボットアントレプレナーコース



国家戦略特区を活用した介護ロボットの社会実装

ロボット技術等の導入促進による介護職員の負担軽減と介護の質の向上を通じた先進的介護の実現



移乗アシスト装置
(株安川電機)



歩行リハビリ支援
(リーフ株)

II. 地方自治体の取組

市内ロボット企業に加え、環境・エネルギー分野や新分野でも大手企業と連携を推進

- 環境・エネルギー分野の先進的なプロジェクト
若松区響灘地区には、廃棄物処理技術、資源リサイクル、新エネルギーなど最先端の環境関連技術を実証的に研究する民間企業や施設が集積。再生可能エネルギー分野では、民間企業と風力発電関連産業の総合拠点化を推進。
- (株)NTTドコモと5G、ビッグデータの活用によるSDGs達成に向けた連携協定を締結
全国で初めて官民データ連携を見据えたEBPMに関する実証実験の取組みを開始。

ロボットに加え、環境・エネルギーに代表される本市の強みの分野で大手企業とスタートアップの連携を促進

エコタウンにおける実証フィールドの提供と関連企業との連携



風力発電関連産業の総合拠点化

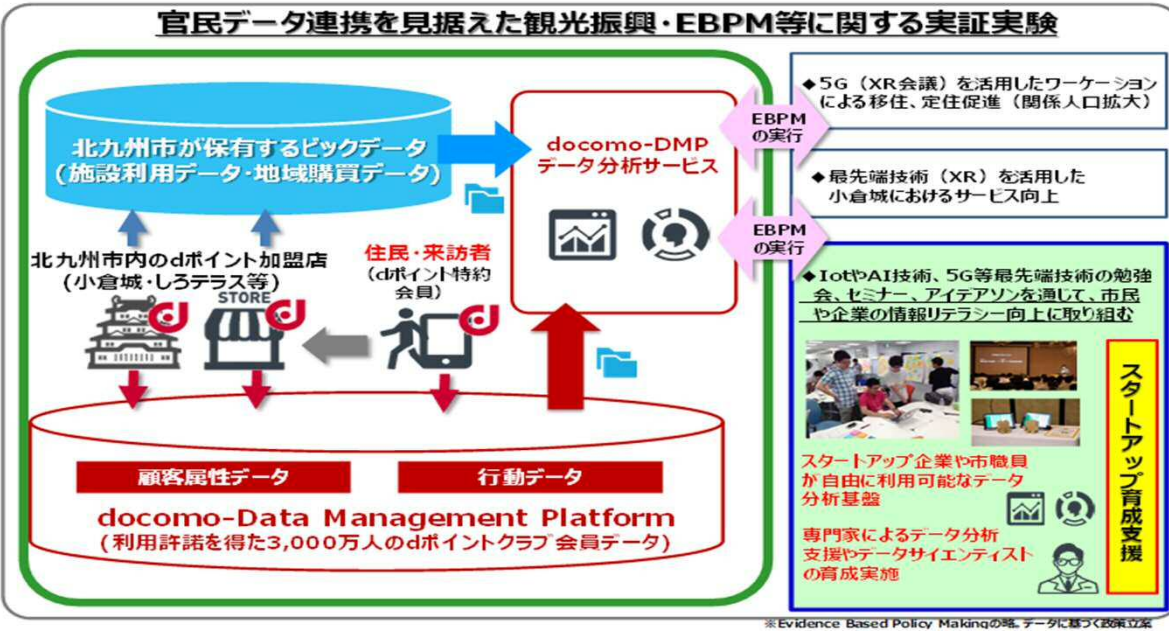


NEDOによるバージ型浮体式洋上風力発電システム

【総合拠点のイメージ図】

北九州市と(株)NTTドコモとの連携協定の締結 全国初の実証実験開始

全国初、官民データ連携を見据えた
EBPMに関する実証実験

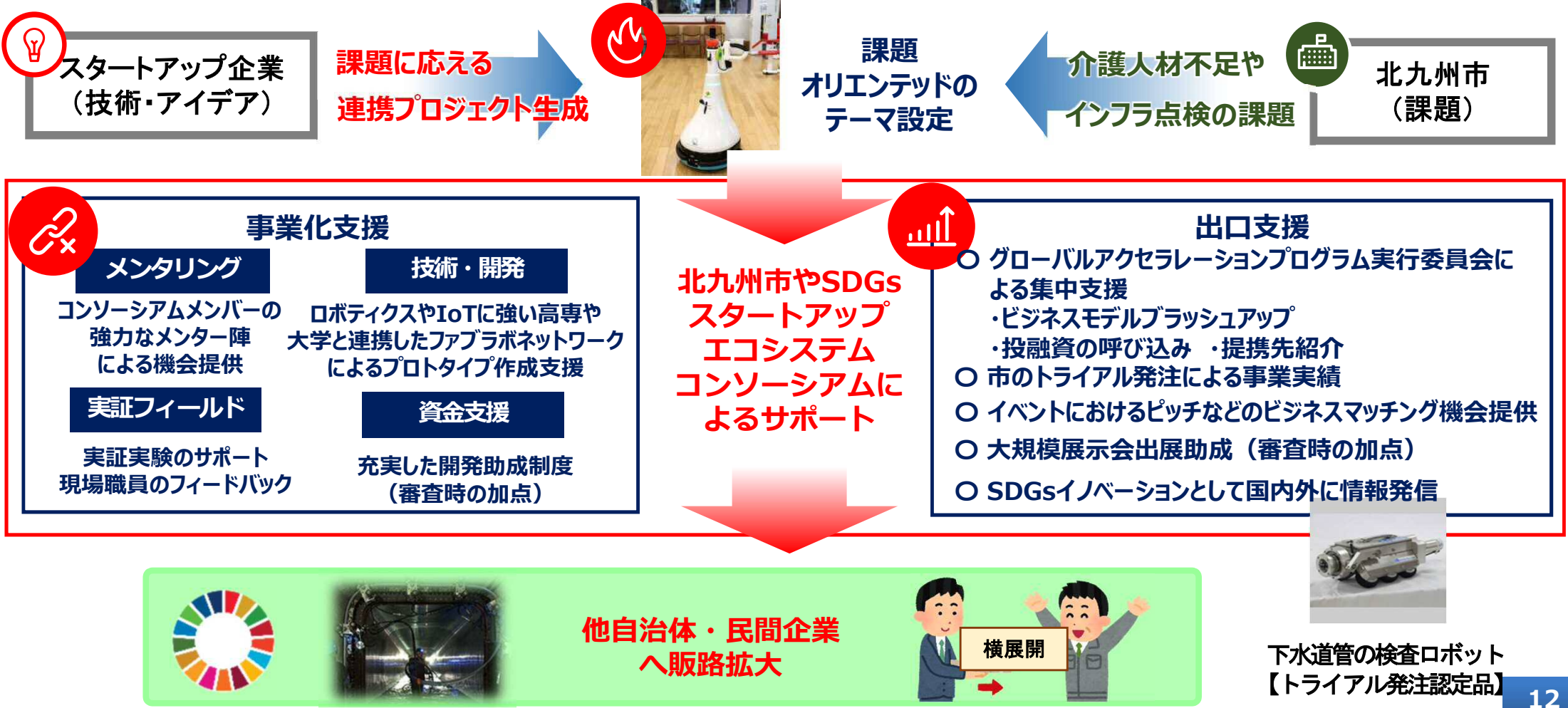


※Evidence Based Policy Makingの略。データに基づく政策立案

II. 地方自治体の取組

公共調達にオープンイノベーションを〜「スタートアップ SDGsイノベーション トライアル」をスタート

- 北九州市が抱える介護人材不足やインフラ点検などの課題をテーマとして提示し、その課題解決に取り組むスタートアップ企業を募集。市の職員とともに課題に応える製品・サービス等の開発を進め、プロトタイプの実証実験や市のトライアル発注等につなげるプログラムをスタート。
- 製品開発や事業化支援には、グローバルアクセラレーションプログラム実行委員会の集中支援プログラム等、コンソーシアムのサポートも最大限に活用。
- 北九州市がスタートアップとともに新たな製品やサービスを生み出すことで、行政の生産性を向上させるとともに、出口支援として、市のトライアル発注による実績を作り、同様のニーズがある他自治体や民間企業への販路拡大を支援。



II. 地方自治体の取組

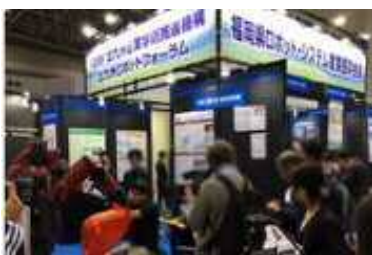
県や北九州都市圏に加え、さらに広域の自治体間連携を促進

- 福岡県と密接な連携のもと、高度技術の開発・先端分野展開をリードし、ベンチャービジネスを育成
北九州圏域における、ロボットなど、ものづくり産業で培われた技術と人材の蓄積を活かして、**福岡県や地域企業との連携**により、**産業用ロボットの高付加価値モノづくりクラスター**の形成を進めている。また、**福岡県ベンチャービジネス支援協議会**が実施する**「フクオカベンチャーマーケット」**を活用している。
- IT産業集積へ「ブロックチェーン技術を核としたグローバルな創業環境」を目指す飯塚市との連携強化
九州工業大学 情報工学部、近畿大学産業理工学部が立地し、**「e-ZUKATライバレーセンター」**を核にスタートアップ支援を進める飯塚市との連携を強化し、相互の強みを活かしながら大学発ベンチャーの創出、オープンイノベーションの促進等を図る。
- 北九州がムーブメントの中心に～圏域でスタートアップを盛り上げる～
 - ・ 相談事業や起業家向けセミナーなどの**北九州市の支援事業**について、**北九州都市圏域(連携中枢都市圏17市町村)全体で活用を進め**ているほか、**下関市との交流事業(「startupweekend 関門」)**なども展開。
 - ・ 圏域の他自治体においても**創業支援の拠点が新設**。圏域全体でスタートアップを支援し創業機運を盛り上げる。

ものづくりの先端分野における福岡県等との連携

福岡県ロボット・システム産業振興会議

産業界、大学及び行政が緊密に連携して、福岡県域でこれまでに培ってきたロボットや半導体関連の技術ポテンシャルを活用し、新技術の開発を推進する。
ロボット・システム製品開発支援事業、実証実験促進事業、大規模展示会出展支援、技術者養成講座、ロボットシステム開発センター等の施設によるインキュベーション支援、開発用装置の提供 など



展示会への出展の様子

【会長】津田純嗣
(株)安川電機代表取締役会長
【会員数】840企業・団体等

福岡県ベンチャービジネス支援協議会

福岡県がベンチャー企業の育成を支援・推進する官民連携のベンチャー支援プラットフォームとして設置。ベンチャー企業とビジネスパートナーのマッチングの場「福岡ベンチャーマーケット(FVM)」を平成11年から開催し、専門コーディネーターによるビジネスプラン策定や資金調達、販路開拓支援を実施。

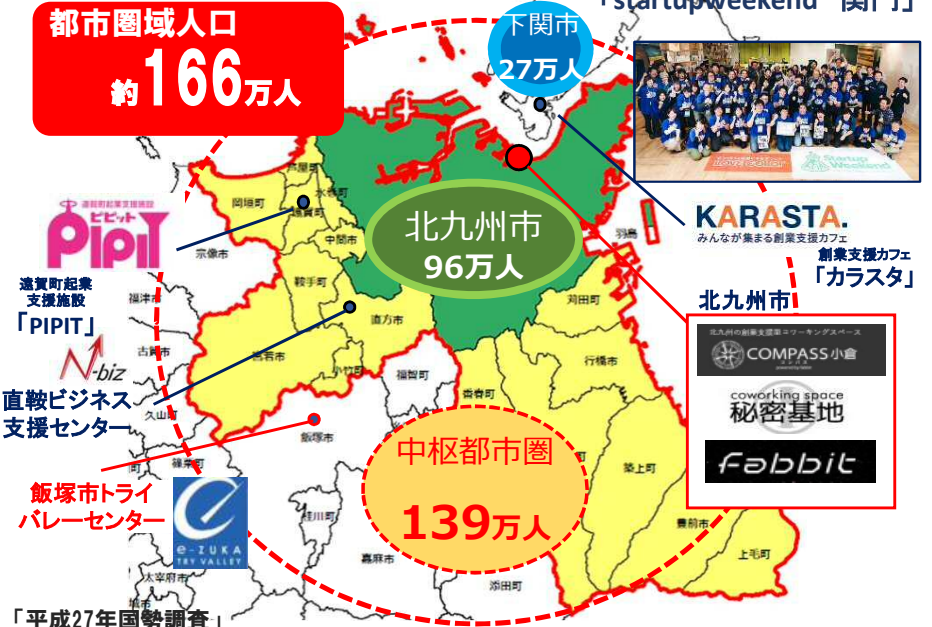


FVMの実績(240回開催)
登壇企業2,619社、株式公開28社、商談成約514社

【会長】貫正義(九州電力(株)相談役)
【会員】240社・団体(VC、銀行、商社、メーカー、証券会社、監査法人、生保・損保、自治体、支援機関等)

北九州都市圏における創業機運の醸成

北九州を中心とした都市圏域 下関市とのスタートアップ体験イベント「startupweekend 関門」



本市の創業に関する事業を、圏域の自治体でも活用するとともに各自自治体のインキュベーション施設との連携も強め、圏域全体で創業機運を盛り上げる。

Ⅱ. 地方自治体の取組

北九州県域を越えた自治体間連携も推進

1 福岡市、飯塚市をはじめとした県内の拠点施設との連携強化

(1) 各拠点施設の入居企業の交流促進
年1～2回程度、COMPASS小倉入居企業がFGNやe-ZUKAトライバレーセンターに出向いて自社サービスを紹介するなど（逆パターンも想定）、相互の入居企業や学生などが参加するピッチ・マッチングイベントを開催。

(2) 各自治体のイベントを通じた連携
IoT Makers創出プロジェクト「北九州でIoT」の開催に係る連携

プログラムの説明会を福岡市、北九州市の両会場で実施し、両市のスタートアップの参加を促進。



2 国家戦略特区制度を通じた福岡市との連携強化



国家戦略特別区域制度を活用して、令和2年度中にCOMPASS小倉内に「開業ワンストップセンター」と、「雇用労働相談センター」を設置。

先行して取組みをすすめている福岡市との意見交換、情報連携を通じて、ノウハウの共有を行う。

3 県内自治体担当者間の実務者会議の開催

積極的に創業支援に取り組む福岡県下の市町村担当者※で意見交換会を実施。スタートアップ・創業支援の情報を共有し、スタートアップ支援体制の底上げを行う。

※飯塚市、糸島市、北九州市、久留米市、福岡市、宗像市等（50音順）

II. 地方自治体の取組

環境・エネルギー分野の比類なき強みを活かし、北九州がアジアのSDGsイノベーションハブになる

- 海外からスタートアップを呼び込む
 - ・海外展開支援機関(JICA九州、JETRO北九州)との連携によるプロモーション強化(招聘事業等)、現地政府や現地コワーキングスペースとの連携による海外スタートアップと市内大手企業のオープンイノベーションニーズとのマッチング。
 - ・北九州市の先進プロジェクト(ロボット等)との連携やスタートアップビザ制度による海外スタートアップの誘致。
- スタートアップの海外展開をサポートする
 - ・本市の強みである「環境国際展開事業」、「海外水ビジネス事業」における各国政府等とのネットワークをフル活用。【P37,38参照】
 - ・海外展開支援機関(JICA九州、JETRO北九州)と連携、現地ニーズとのマッチングや、大規模展示会への出展などによる後押し。



北九州貿易・投資ワンストップサービスセンター
過去5年間の支援実績 (2014~2019年度)

北九州市・JETRO北九州・(公社)北九州貿易協会の3機関からなるワンストップセンターで北九州へグローバルビジネスを呼び込む。

対日投資支援

76件

日本初開催 ホラシスアジアミーティング

北九州市は、スイスの独立系シンクタンク、ホラシスとアジアの経済交流をテーマにした国際会議を日本初開催。会議では、東南アジアを中心に企業経営者や投資家ら400名を招き、環境技術やESG(環境・社会・企業統治)投資などをテーマにビジネス交流を図る。会議参加者とスタートアップとのマッチング促進イベントを企画。【P39参照】



ホラシス会長リヒター氏と北橋市長

環境国際ビジネス支援

海外水ビジネス支援

アジアとつながる 3つの力 ①公害克服の経験 ②長年培った各国との信頼関係 ③高い環境・エネルギー・上下水道技術の集積

北九州市アジア低炭素化センターを通じた海外展開

過去10年間の現地プロジェクト実績 (2010~2019年度)

実施地域	プロジェクト数
16の国と地域	211プロジェクト
80都市	(約196億円)

2010年に、アジア地域の低炭素化を通じて地域経済の活性化を図る「アジア低炭素化センター」を開設。アジア諸国への都市環境インフラパッケージ関連のプロジェクトを多数展開。



廃棄物発電導入支援 (ダバオ市)

北九州市海外水ビジネス推進協議会を通じた海外展開

2010年に、海外での水ビジネス展開を目的とした官民連携の組織として設立。民間の高い技術力等が強み。

過去10年間の受注実績 (2010~2019年度)

受注件数	受注額
71件	約155億円

海外でのスタートアップオフィスの機能を備えた北九州市海外事業サポートセンターをカンボジア・ベトナムに開設。



ベトナムに完成した高度浄水処理技術 (北九州市が開発)

II. 地方自治体の取組

創業期からグローバル展開まで、スタートアップの一貫支援に向けた組織体制にアップデート

- 市の創業支援型コワーキングスペース「COMPASS小倉」「北九州貿易・投資ワンストップセンター」と同施設内に、**「スタートアップ推進課」**を新規設置。創業期からグローバル展開まで、**スタートアップを機動的に支援**できる環境を整備。
- 産業経済局内に、**局長をトップ**に関連部署の職員も併せて**約70名**でスタートアップを支援する**体制を構築**。
- **顔となる職員** (U40) のうち1名を**デロイトトーマツベンチャーサポート(株)**に派遣し、スタートアップ支援のノウハウとネットワークを獲得するとともに、地域のイノベーション創出施策を実行する**イノベーションオーガナイザーとして育成**。

(1) 担当部局名 担当者数

2020年度 **スタートアップ推進課** 新設

部長(1) — 課長 (1) — 係長(4) — 職員(5)

※ 係長のうち、1名はトーマツ派遣、東京常駐



- 8F **スタートアップ推進課**
JETRO北九州 貿易協会 貿易・投資ワンストップセンター
- 6F 創業支援型コワーキングスペース
「COMPASS小倉」
- 2F 若者ワークプラザ、ウーマンワークカフェなど
若者や女性の就職・採用支援機関が集積

産業経済局内に局長をトップとする支援体制構築

部署	役割	職員数
スタートアップ推進課	全体総括、海外展開・スタートアップ誘致	15
中小企業振興課	市内中小企業とのマッチング	12
産業イノベーション推進室	産学連携総括、産業用ロボット等の大規模プロジェクト推進	16
産業政策課	市内大手企業とのマッチング	5
企業立地支援課	スタートアップの誘致	23

(2) 支援の顔となる職員

産業経済局長 **鮎川 典明** 関連業務経験 8年3か月

産学政策課長、地域産業課長、観光部長等を歴任。
令和元年度から産業経済局長に就任



支援の顔となる職員 スタートアップ推進課 U40



係長 **岡本 芳郎** 関連業務経験 11か月

市の環境分野に精通
民間のエンジニア経験を活かす



係長 **谷本 真一** デロイトトーマツベンチャーサポート派遣

MICE誘致で実績
スタートアップ担当に抜擢



主任 **加地 敬史** 関連業務経験 5年11か月

COMPASS小倉立ち上げに従事



職員 **中村 理紗子** 関連業務経験 1年11か月

広報企画担当



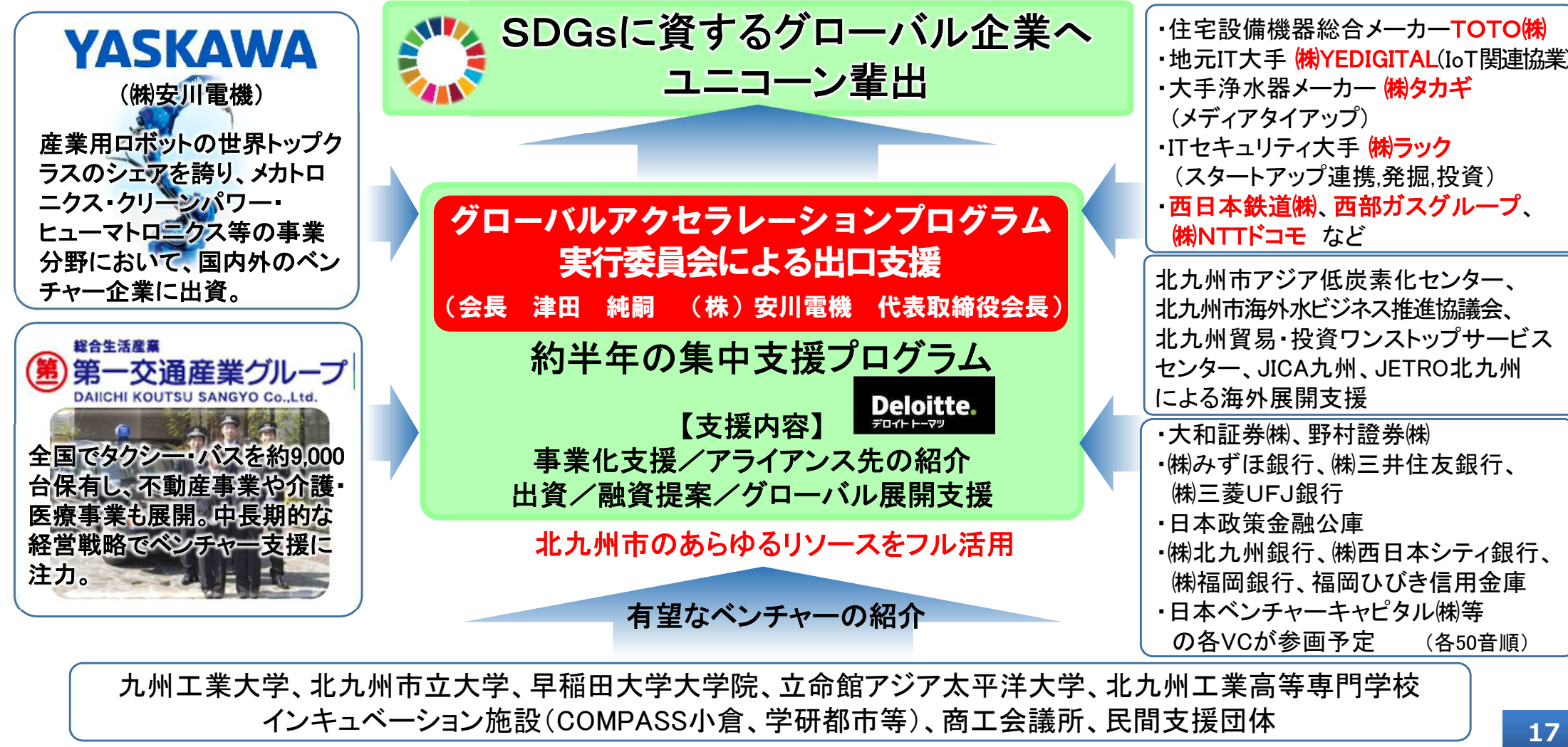
職員 **西山 佑** 関連業務経験 1年11か月

グローバル展開担当
ベトナム語を習得

Ⅲ. 民間組織の取組

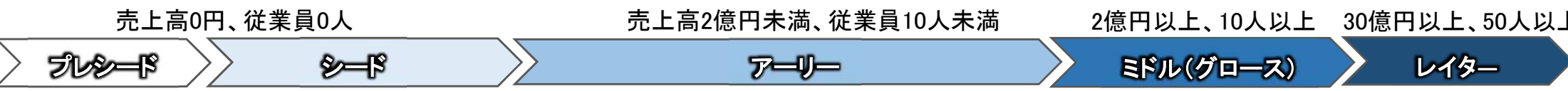
民間主体のグローバルアクセラレーションプログラム実行委員会を通じてSDGsに資するユニコーンを輩出

- 地域の **大手企業**、全国規模の投融資会社、金融機関、VC等から構成されるグローバルアクセラレーションプログラム実行委員会が、**有望な起業家を集中支援するプログラムを展開**。
- デロイトトーマツベンチャーサポート(株)が運営に携わり地域の大学等からの紹介をもとに、将来有望なベンチャーを選抜。
- 北九州市に本社を置く(株)安川電機、第一交通産業(株)などの **大手・中堅企業による事業化支援、証券会社などによるアライアンス先紹介、VCによる出資など、半年間にわたり徹底的に出口支援し、北九州市からテック系グローバル企業を輩出**する取組みを強化。

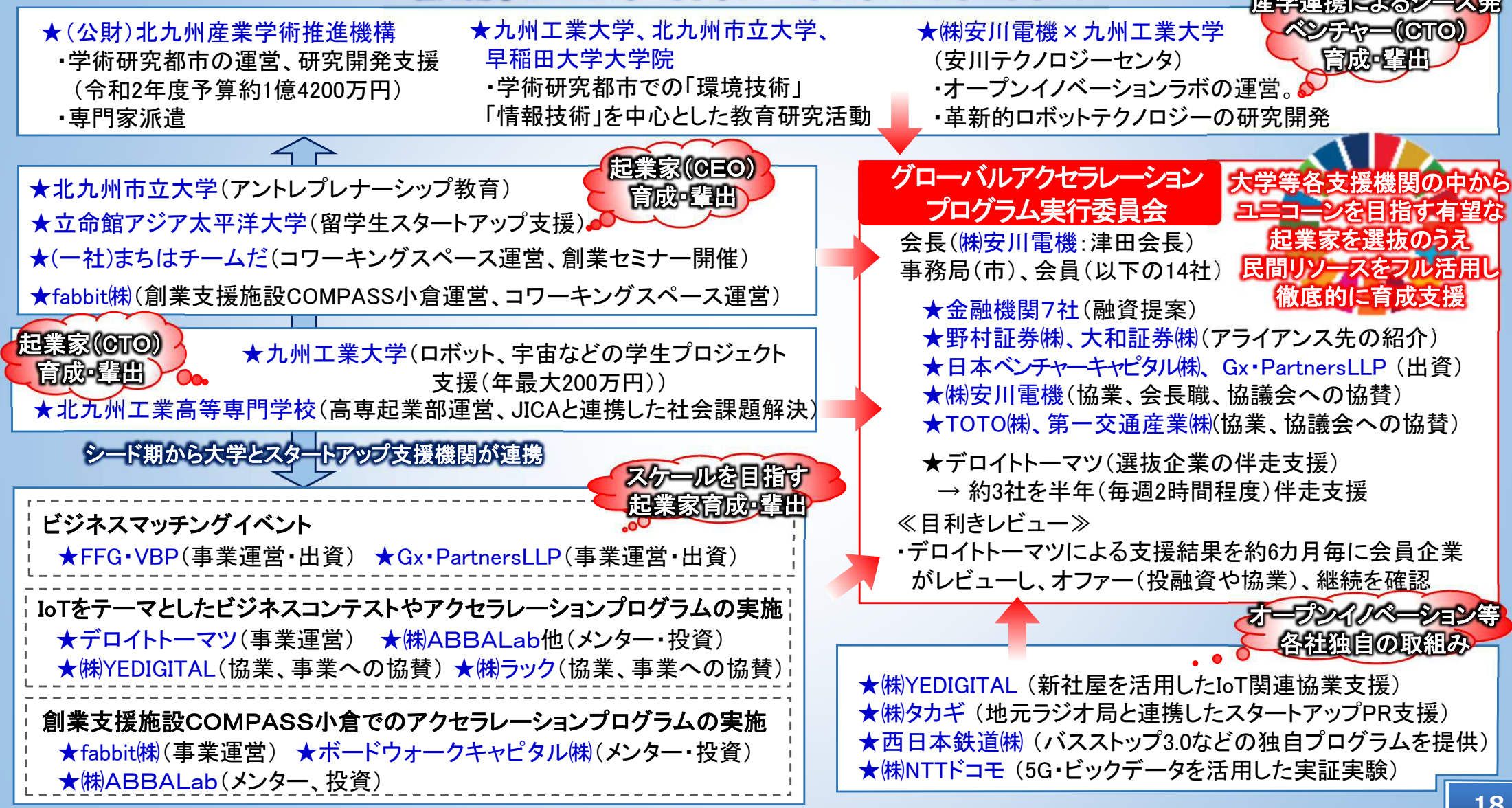


Ⅲ. 民間組織の取組

各主体の果たす役割とグローバルアクセラレーションプログラム実行委員会との繋がり



北九州市SDGsスタートアップエコシステムコンソーシアム



Ⅲ. 民間組織の取組

北九州都市圏域で活動するVC、アクセラレーターに加え、全国から本市のエコシステムに参画

- 近年、**地元の銀行系、独立系VCだけでなく、東京を拠点とした著名なVC・アクセラレーターの活動**が活発化。
- 学発等の**テック系ベンチャー**がシーズオリエンテッドの事業を試みるが、**スケールアウトに至っていないのが現状**。
- VCとのかかわりが少なかったことが要因の1つではないかと考え、エコシステムにおいては、これら課題を踏まえて取組む。
- 顧客目線の商品・サービスの追求、**VC・アクセラレーターによるスケールアウトプログラムを徹底的強化**。
- **SDGs先進都市としての投資環境の熟成**を図る。



Ⅲ. 民間組織の取組

本市のエコシステムにおけるキーパーソン・インフルエンサーの取組

○ スタートアップ界隈において**全国的に著名なキーパーソン**の協力に加え、市域に存在する多くのコミュニティと繋がりのある**強力なメンバー**が本事業とSDGs先進都市の取り組みにコミットし、各々の特徴を活かした**情報発信を強化**する。

 本市の**SDGsスタートアップエコシステム拠点形成**に向けキーパーソン・インフルエンサーが活動

日本ベンチャーキャピタル(株) 照沼 大 氏
■市内スタートアップへの助言・投資
■市の顧問として全国のベンチャー誘致



- 全国でも著名なベンチャーキャピタリスト
- **市顧問**の肩書をもつ
- 自らのネットワークを活用し、**SDGs先進都市の魅力を全国に発信**
- 将来**有望なベンチャー企業の誘致**を行う

(株)ABBALab 小笠原 治 氏
■市内スタートアップへの助言・投資
■IoTメーカーズの主要メンター



- **IoTハードウェア**のスタートアップを支援する**シードアクセラレーター**
- ものづくりのまち北九州市のポテンシャルに着眼
- **市主催のアクセラレーションプログラムのメンター**
- 市のインキュベーション施設運営にも参画

(一社)まちはチームだ 岡 秀樹 氏
■コワーキング施設運営
■創生塾(起業塾)開催



- 地元密着型のコワーキング施設「秘密基地」を運営。
- **世界のコワーキング施設との繋がりを活かしたグローバル展開支援**
- 起業経験を活かした**アントレプレナー事業**を展開し、若者の起業成長をバックアップ



北九州工業高等専門学校 滝本 隆 氏
■高専生の起業家育成
■ロボティクス企業の経営



- 九州工業大学西田准教授と**ロボティクス分野のスタートアップ(キックロボティクス)**を設立し、CEOに就任
- **高専発ベンチャー**や**高専起業部**の立ち上げ、運営をサポート
- エンジニア**起業家**として**スタートアップシーンを牽引**



(公財)北九州産業学術推進機構 糸川 郁己 氏
■ITコミュニティ形成
■SNSを用いた情報発信



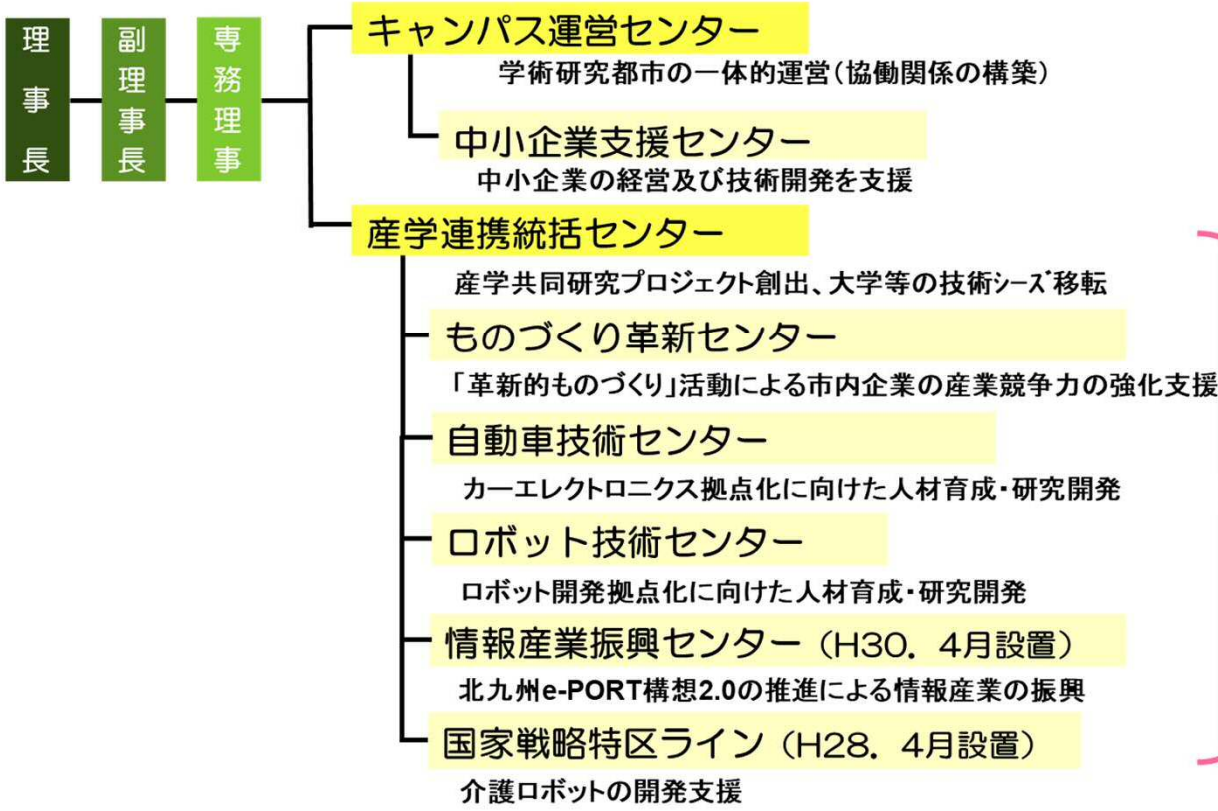
- 地域課題をIT技術で解決する任意団体「Code for Kitakyushu」、産学官民金が連携しオープンイノベーションに取り組む「北九州e-PORTパートナー」等の**IT・新規事業創出コミュニティ運営**
- **スタートアップ関連イベントの企画、関連情報のSNS発信**
- 市域の**インフルエンサー**としてエコシステムの取組みを加速化

産学連携のコーディネーター（公財）北九州産業学術推進機構



公益財団法人 北九州産業学術推進機構
Kitakyushu Foundation for the Advancement of
Industry, Science and Technology

FAISの組織

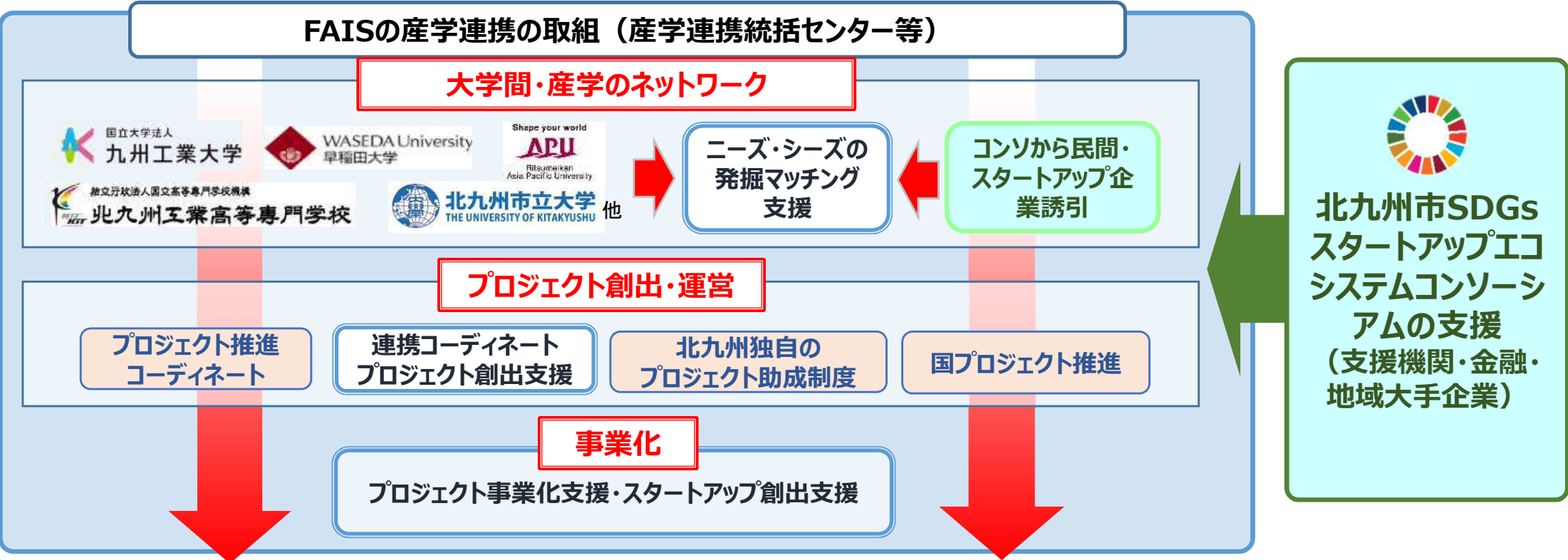


- 理事長：松永 守央
(前九州工業大学学長)
- 基本財産：3億8,550万円
北九州市出捐3億円
民間出捐8,550万円
- 平成30年度事業費（支出決算額）
：約18.5億円
(うち国等の受託研究等約0.9億円)
- 役員等構成 [学 界] 学研参加大学副学長、
市内理工系大学学長等
[産業界] 商工会議所等経済団体
[行政等] 北九州市、福岡県
- 職 員 数 65名 (令和元年5月1日 現在)
民間出身27名(うち出向12名)
市派遣12名、県派遣1名、
事務嘱託等25名

IV. 大学の取組

(公財) 北九州産業学術推進機構を中核とした大学の連携促進

○ (公財) 北九州産業学術推進機構 (FAIS) の産学連携の取組に、コンソーシアムの支援力やスタートアップエコシステムの多様なプレイヤーを加え、**オープンイノベーションの強化拡充とスタートアップ企業の創出を促進**



FAISの産学官連携プロジェクト助成実績

北九州TLO活動実績

累計 **181** 件 (30年度末) [助成額計 約 **9** 億 **7** 千万円]

【特許出願件数】 累計 **433** 件 【技術移転件数】 累計 **230** 件

高性能殺菌・消臭光触媒製品
(連携：九州工業大学・北九州市立大)

(株)フジコーが産学連携により開発。市内に新工場を設立 (H25) 第1回ものづくり日本大賞「優秀賞」。G7エネルギー大臣会議の贈答品に選定。

廃プラスチックの油化技術の移転
(シーズ：北九州市立大)

エコタウン 実証実験機

生成油サンプル

一般廃棄物プラスチックから、高効率かつ安価に高品質分解油を生成可能。
5社に技術移転、うち1社では30年4月より事業開始

【研究成果提供大学等】
九州工業大学、産業医科大学、北九州市立大学、九州歯科大学、西日本工業大学、九州共立大学、中村学園大学、北九州工業高等専門学校

IV. 大学の取組

地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

【九州工業大学】

- （資金面）2006年から特許の実施許諾の対価として、**新株予約権を引き受け**を開始、これまで**8件の実績**。
- （資金面）2015年より特許の**持分譲渡の対価で株式を取得**。
- （施設面）大学構内に**インキュベーション施設**や**インキュベーションルーム**を設置し、起業前の学生に無償提供。
- （国プロ活用）文部科学省の**大学発新産業創出拠点プログラム（START）**などの支援施策を積極的に活用。

【北九州工業高等専門学校】【P33参照】

- 高専発ベンチャー「**合同会社Next Technology**」を核に**JICAと連携**し、農業をテーマとした**アフリカの課題解決**に取り組む。
- 全国57高専の学生を繋ぎ、ハッカソン等を通じて新たな高専発ベンチャー創出を目指す「**高専起業部コミュニティ**」を構築。



国プロやイノベーション施設を活用したスタートアップ創出・途上国の経済成長の促進

【九州工業大学】

株式会社ひびきの電子



九州工業大学発のベンチャー企業で、主に人工知能、自動運転技術、センサーの開発や、開発したセンサーを利用した製品開発を行う。

世界初洗える布型センサー nunooru(ヌノール)

大学発新産業創出拠点プログラム（START）活用事例

合同会社テイクプラス



竹の繊維とプラスチックのコンポジットを中心とする事業を推進する九州工業大学発のベンチャー企業。文部科学省START事業の成果を受けて設立。竹ノプラスチック・コンポジットのサプライチェーンを構築し、特許技術を企業にライセンスして、大規模に竹の有効利用を進める。

竹の有効利用

【北九州工業高等専門学校】

JICAと連携した社会課題解決の取組み

開発途上にある海外の国々や地域における国際協力事業の質の向上と教育の発展に寄与することを目的に、「JICA-高専イノベーションプラットフォーム」設置に関する覚書に調印。高専生が、ルワンダでのコーヒー豆の糖度検査のプロトタイプ開発に挑戦。



ルワンダでの取組みの様子

連携の中核 九州工業大学「オープンイノベーション推進機構」を今春設置 民間との連携強化も視野



国立大学法人 九州工業大学

産学協創の研究活動を促進する施設「**オープンラボコンプレックス（仮称）**」の新設も計画

学内組織「イノベーション推進機構」を、本年4月「オープンイノベーション推進機構」として発展的に改組。

国際・研究推進

産学連携支援

知的財産管理

技術移転支援

+

ベンチャー支援

産学連携教育支援

設備共用支援



本年5月、小倉都心に新社屋をオープンし、市内のイノベーション創出拠点を目指す。

スタートアップ企業や大学等との連携を進めるため、**コワーキングスペース**等を新設予定。



連携

イノベーション人材育成・交流促進や大学発ベンチャー支援等で連携

IV. 大学の取組

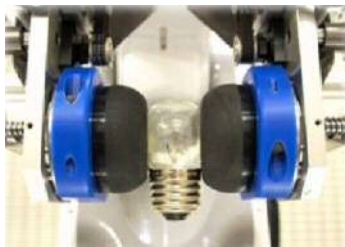
九州工業大学からロボットをはじめとした多様なスタートアップが輩出

KiQ Robotics株式会社



CTO:西田 健 CEO:滝本 隆
九工大准教授 北九州高専准教授

「だれでも簡単に使える産業用ロボットを世界に」をビジョンに、これまで人にしかできなかった**多くの作業をロボットで行うことを可能とする『汎用ロボットハンド』**による自動化パッケージを提供。

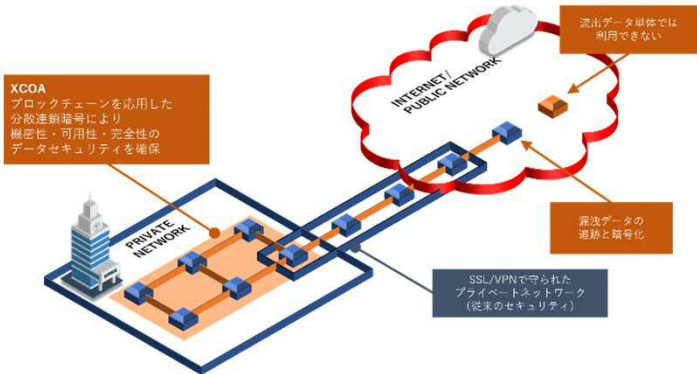


- 汎用ハンド
- 3Dセンシング
- 教示レスシステム
- 産業用クラウドサービス

株式会社TRIART



(右)安全なデータ連携と運用管理低減に関する
(株)LACとの共同開発



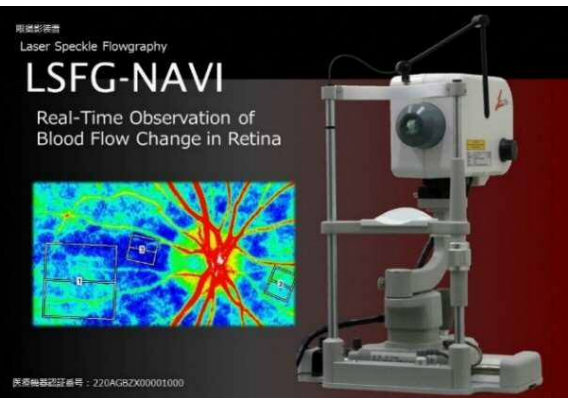
「次の世界へ必要な、総合的技術解決力」をビジョンに掲げ、ブロックチェーン、P2P、感性情報処理、AI、様々な技術活用を求められる中、**未来を見据えたイノベーティブでスマートなソリューションを提供可能な技術機関**として活動する九州工業大学発スタートアップ

ソフトケア有限会社

Softcare Co., Ltd.

Laser Speckle Flowgraphy System Products

九州工業大学で開発された**血流画像化技術**を事業化した**教員発スタートアップ**。眼撮影装置、皮膚血流画像化装置などを販売。
眼底血流画像化装置は、医療機器製造認証を取得。



株式会社セキュアサイクル



「システム開発におけるセキュリティ対策を当たり前」を理念に、開発時に**脆弱性を作りこまないためのシステム開発における設計・開発**をはじめ、IoT機器における脆弱性診断などのサービスを展開。

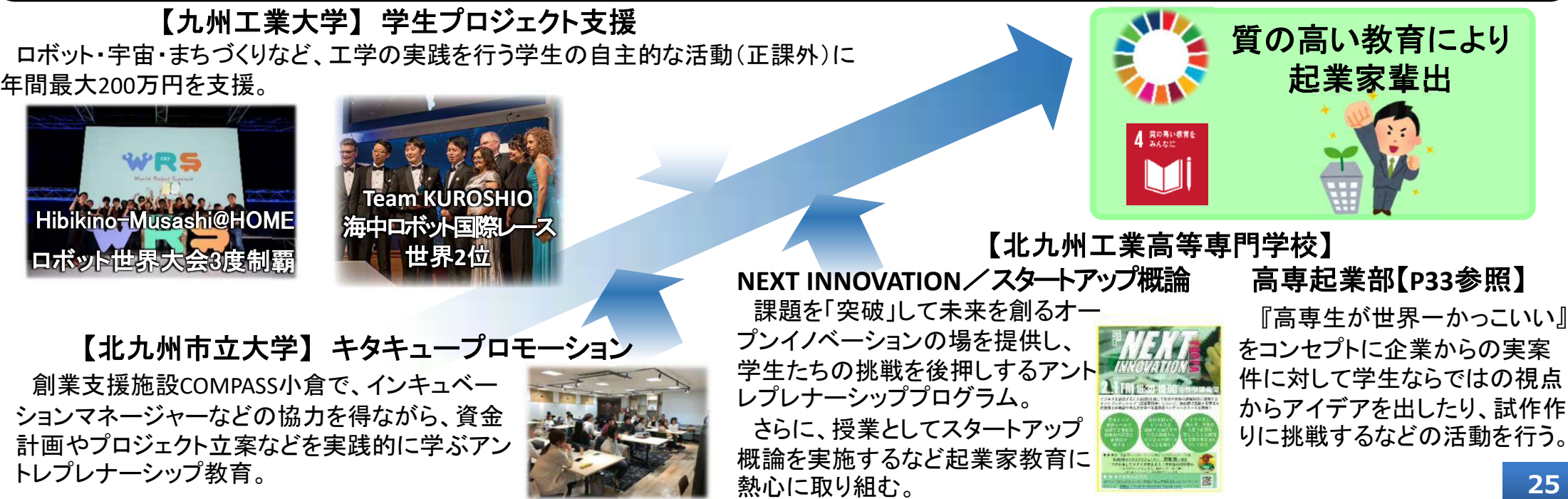


代表取締役
服部 祐一

IV. 大学の取組

地域の大学における起業家教育の取組

- 【九州工業大学】
 - 「アントレプレナーシップ入門」及び「アントレプレナーシップ演習」を開講。起業家や経営者などを講師に招聘し、**起業家精神から知財、資金調達などの必須技術を学び、実践**する機会を提供。
 - ロボット・宇宙・まちづくりなど、**工学の実践を行う学生の自主的な活動**(正課外)に**年間最大200万円**を支援。学生チームの Hibikino-Musashi@HOMEが**ロボット世界大会3度制覇**するなどの実績。
- 【北九州市立大学】
 - **地域創生学群の選択実習「キタキュープロモーション」**で、COMPASS 小倉で学生による起業・事業運営を実施。
 - 理工系学生を対象に、**地域の社会課題を解決する起業家の育成を目指した「技術経営概論」**の開講に加え、学生主体の企画によるものづくり活動に最大80万円支援する**「ものづくりチャレンジプロジェクト」**を実施。
 - 社会人を対象にした、高度IT人材育成のための「enPiT-everi」プログラムの提供や、ビジネススクールによる地域をリードする高度専門職業人の養成を実施。
- 【北九州工業高等専門学校】
 - 専攻科1年(大学3年に相当)の学生を対象に、「**スタートアップ概論**」を開講。
 - **アントレプレナーシップ醸成プログラム「NEXT INNOVATION」**で外部から著名な講師を招聘。



IV. 大学の取組

大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

- 【立命館アジア太平洋大学など】
- 市と連携して**留学生のスタートアップ支援プログラム**を構築。

○留学生に対し、国家戦略特区制度を活用して**外国語対応窓口**や**スタートアップビザ制度**を導入。
- 【九州工業大学】
- 市と連携して、文部科学省の**「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」**に採択。

○「センサ」と「機械学習」を組合せ、介護を受ける人と介護現場で働く人の双方が「より安全に」「快適に」「やりがいをもって」活動するための **アンビエント・ヒューマン・センシングIoT事業**を推進。

立命館アジア太平洋大学等の留学生スタートアップ創出・文科省プログラムの活用

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

立命館アジア太平洋大学 etc

×  **北九州市**
CITY OF KITAKYUSHU

北九州SDGs留学生スタートアップ支援プログラム（案）

北九州SDGs留学生スタートアップ支援プログラムでは、外国人留学生のみなさんのスタートアップを総合サポート！
開業支援（生活支援も）はワンストップで。多彩な事業化支援プログラムや、実証フィールドの提供、海外展開支援も行っています。

【New!】
「開業ワンストップセンター」が、開業までをトータルサポート

②開業支援

【New!】
5G環境や3Dマップ等を備えた実証フィールドの提供

⑤実証支援

 **SDGsプロモーション**
OECDモデル都市やSDGs未来都市としてのブランド力活用

わかいやすい！

scale out!

①開業支援
まずは、【New!】
「外国人開業相談対応窓口」で相談！

「多文化共生ワンストップインフォメーションセンター」が、日本での生活を支援♪

留学中に考えたアイデアで起業したいけどどうしたら...

③開業支援
【国家戦略特区】
「スタートアップビザ」があるから起業しやすい

④成長支援
【多彩な事業化支援プログラム】
●SDGsスタートアップエコシステムによる伴走支援
●市内企業とのマッチング強化
●ビジコン、ピッチイベント
●公共調達の推進 など

JICAやJETROとのタッグによる海外展開支援
海外水ビジネスや環境国際ビジネス等とのマッチング

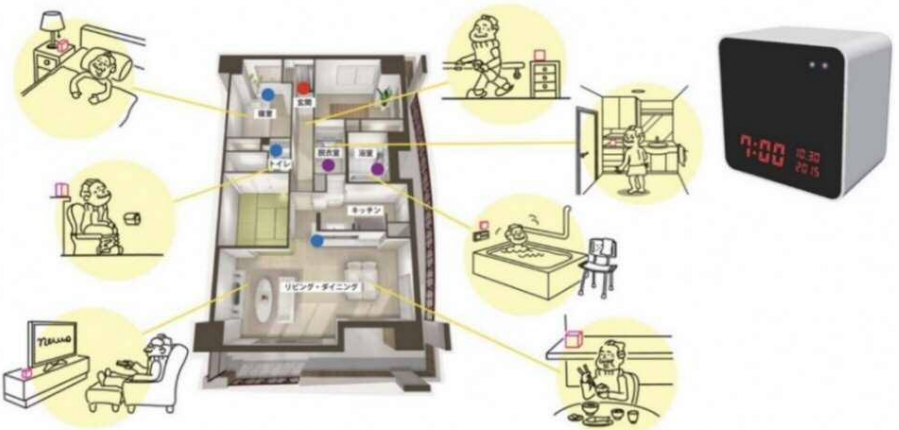
国立大学法人
九州工業大学

×  **北九州市**
CITY OF KITAKYUSHU

文科省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」

人の動きや心拍、呼吸といった生体データを把握できる非接触生体センサを中心に、環境データ用センサや、介護記録などのテキスト情報も併せて解析することで、介護現場での安全性向上や業務効率化に貢献する事業の創出を計画。

見守りセンサーは九州工業大学発のベンチャー企業「ひびきの電子」の非接触センサモジュールを使用。



シニア みまもり&ヘルスケアIoT事業

26

V. 都市の環境・繋がり状況

都市の集積・環境の概要（グローバルな人材を惹きつける環境）

○ **産業集積のポテンシャル**に加え、宝島社「田舎暮らしの本」では、便利で暮らしやすい地方都市として、子育て世代部門 **2位**、シニア世代部門 **3位**、若者世代部門 **5位**になるなど、**全国的にも暮らしやすいまちとして高い評価**を得ている。

自然



都心部近くの**美しい海岸**
日本新三大夜景を見下ろす**皿倉山**
日本有数の**カルスト台地**

食の魅力



食ベログ回転ずし部門全国 **1位** 京寿司
全国から予約殺到 **天寿司**
ミシュランガイド2019 **25店舗**

医療



人口当り病院数 政令市中 **第3位**
小児科24時間対応 4病院
災害拠点病院 9か所

交通



のぞみ、ひかり、こだま **全て停車**
北九州⇄羽田 **東京まで約1時間半**
西日本最大級の**フェリー基地**

産業



売上高 **100億円以上 86社**
上場企業 21社
九州唯一の国際定期貨物便就航

子育て・教育



次世代育成環境ランキング 全国**第1位**
合計特殊出生率**1.60** 政令市**第1位**
年度当初の**保育待機児童ゼロ**
国立工業系大学と高専のあるまち

観光



日本新三大夜景都市に認定
人気スポットの**小倉城天守閣**
明治時代の面影を残す**門司港レトロ**

大規模プロジェクト



日本発の大規模**エコタウン事業**
風力発電関連産業の総合拠点化
都市**インフラ技術**の海外輸出

文化・芸術



2020年 **東アジア文化都市**
訪れてみたい日本の**アニメ聖地選定**
5万冊貯蔵の漫画ミュージアム
TGC北九州 5年連続開催
(東京ガールズコレクション)

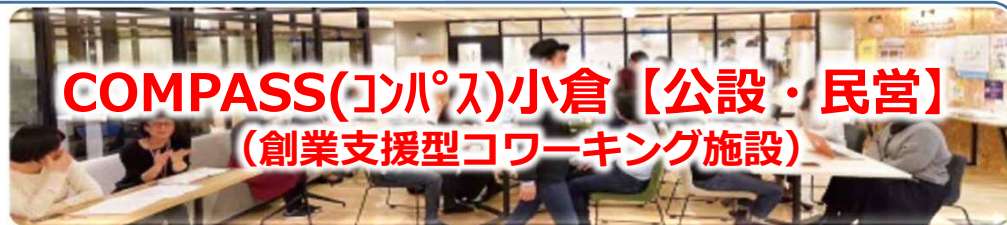
V. 都市の環境・繋がり状況

スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設・民間施設）

- 平成30年、創業支援型コワーキング施設としてリニューアルオープンした**COMPASS小倉**では、**業種を問わない多様な経営者**が利用。
- 平成13年、アジアの先端産業都市の実現を図るため、**北九州学術研究都市**を整備。本学研では、国（九州工業大学）、公（北九州市立大学）が同一キャンパスで活動し相互連携により**イノベーションを加速**。
- **研究員210名**、学生2, 456名（**修士・博士課程1, 333名**）、教員173名が利用。
- 本計画では、学研都市とCOMPASS小倉の利用者の交流を促進し、シナジー効果を生み出し、イノベーションを加速。



COMPASS小倉の**経営者発想**と学研都市の**技術**を融合 ⇒ **イノベーション創出**と**SDGs推進**



- **創業支援の中核施設**
- 起業家と入居企業の交流による**イノベーション創出**
- **起業家マインド**の高い様々な**経営者**が出入り
- スタートアップ輩出に欠かせない施設

利用者：**IT関連企業**のほか**弁護士・社労士**など創業支援に欠かせない専門家も入居。

127社・個人（R1.12時点）

創業数：18件（H31.4～12）

来館者：10万人以上（H30.6～）

運営：APAMAN社を中心としたfabbit共同事業体

総面積：約4, 000㎡

場所：JR小倉駅から徒歩5分。AIMビル6階

開設：平成12年（H30.6リニューアルオープン）



- 「アジアに開かれた学術研究拠点」と「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指して整備
- 先端的な科学技術、「**環境技術**」「**情報技術**」を中心に活発な教育研究活動を展開
- **学発ベンチャー創出**で重要な役割

開設：平成13年4月

総面積：335ha

進出大学：北九州市立大学、九州工業大学大学院、早稲田大学大学院等、福岡大学大学院

学生数：2, 456名（うち修士博士**1,333名**）

研究員：**210名**

入居企業：49社（うち学研発ベンチャー**13社**）

研究機関：**12社**

特許出願：433件（H12～）

外部資金：383件、**約13億円獲得**（H30）

相互
交流

V. 都市の環境・繋がり状況

スタートアップや支援者の交流する場（シェアオフィス、カフェなど）

- 市内には**大企業**や**大学**が開設・運営する**本格的なオープンイノベーション施設**や、**創業支援に造詣の深い経営者が運営するシェアオフィス、カフェ、バー**など誰もが気軽に利用できる空間が存在し、その中で起業家のコミュニティがうまれている。
- 特に平成26年頃から、JR小倉駅周辺において、フリーランスをはじめとした新たな**起業家の動きが活発化**。
- 新しいことにチャレンジする人を応援するまちとして、**起業家が集う場が多数存在**。
- 下記以外の施設 漫画家のシェアオフィス「COLT」、雑貨・アクセサリ・アートの作家が集まる「ビッコロ三番街」女性起業家が運営するシェアオフィス「ダイヤモンドシェア」 etc



多様な主体が**働きがいのある人間らしい仕事ができる空間**を提供

fabbit北九州(ファビット)

- 学ぶ・集う・つくる、という側面から**北九州における新たな文化の担い手をサポート**することをコンセプトに運営しているシェアオフィス
- **シェアオフィスを軸として**、入居者以外にも利用できるライブラリ、様々なスクール・セミナー・ワークショップが行える**イベントスペースを併設**



スマートライフケア共創工房

- 北九州学術研究都市内に整備された、**アクティブシニアIoTに関するオープンイノベーション拠点**
- 九州工業大学が発信する**最新技術を体験**
- 介護とIoTという観点から、アイデアの創出、プロトタイプ、技術性能の評価まで行うことができる施設



秘密基地

- 小倉駅から徒歩3分の100坪程のスペースで運営される**コワーキング施設**
- **フリーランスを中心とした利用者**
- コンセプト「集めて 混ぜて 繋げて 尖らせる」の**地域交流の場**
- **創生塾**(セミナー)開催
- **創業・ビジネス支援の役割**も担う



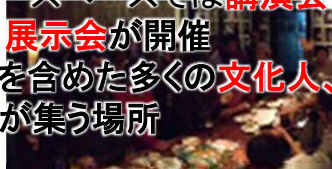
ZATTA ZISSE(ザッタジッセ)

- 税理士法人TAパートナーズ税理士事務所ビル2Fに開設されたスペース
- **シェアオフィス・トライアルカフェ併設**
- 門司港にヒト・モノ・コトが雑多に混じり合い「好き・やりたい」をゆるやかに実践する広場として、**事業発展等を応援する場**として運営される



cafe causa(カフェカウサ)

- 小倉駅から徒歩2分の**レストランバー**
- **インキュベーションマネージャー**の経験をもつ遠矢氏が運営
- 2階フリースペースでは**講演会、勉強会、ライブ、展示会**が開催
- **経営者を含めた多くの文化人、著名人が集う場所**



安川テクノロジーセンタ

- 産業用ロボットでトップクラスのシェアを持つ安川電機。本社敷地内に九州工業大学との**産学連携によるオープンイノベーションエリア「オープンラボ」**を開設(2021年度)
- 革新的ロボットテクノロジーによる「自立の作業ロボット」の研究開発を行う



V. 都市の環境・繋がり の状況

スタートアップ関連イベントの開催状況

○ 金融機関や経済団体、行政など **様々な主体がスタートアップ関連イベントを開催**。創業支援施設 **COMPASS小倉** では参加者20名前後のイベントが **毎週開催**、若者が多く参加する **スタートアップウィークエンドも定期開催** されている。

イベント名(2019年3月以降)	場所	主催者	参加人数
北九州学術研究都市フォーラム生産性向上・テクノロジーイノベーションフォーラム	北九州学術研究都市	(公財)北九州産業学術推進機構	1,300名 (延べ数)
九州SIer DAYS	北九州国際会議場 株式会社安川電機本社	九州経済産業局、北九州市、公益財団法人北九州産業学術推進機構、一般社団法人日本ロボット工業会FA・ロボットシステムインテグレート協会、株式会社安川電機	500名
X-Tech Match up(クロステックマッチアップ)	北九州国際会議場	(株)ふくおかフィナンシャルグループ	400名
COMPASS小倉リニューアル1周年イベント	COMPASS小倉	北九州市	300名
北九州地域委員会発足記念特別講演会・懇親会	TKP小倉駅前カンファレンスセンター	(一社)九州ニュービジネス協議会	100名
北九州でIoTデモデイ	北九州芸術劇場(リバーウォーク内)	北九州市	100名
創業者交流会	COMPASS小倉	西日本シティ銀行	60名
九州・米国起業家セミナー	福岡ひびき信用金庫本店大ホール	在福岡米国領事館、九州経済産業局、九州経済国際化推進機構、北九州市、ジェトロ北九州	60名
九州アプリチャレンジキャラバン	COMPASS小倉	九州アプリチャレンジ・キャラバン2019実行委員会	60名
スタートアップウィークエンド関門	ZATTA ZISSE(ザッタジッセ) uzuhouse(ウズハウス)	NPO法人Startup Weekend	50名
北九州女性創業支援ひなの会活動報告会	リーガロイヤルホテル小倉	北九州女性創業支援ひなの会	50名
fabbit conference	COMPASS小倉	fabbit(株)	20名
シリコンバレーセミナー	COMPASS小倉	JETRO(ジェトロ)	15名

※参加人数は全て概数

アフターコロナ時代の新しいビジネスシーンを、スタートアップと市内企業とのイノベーションを通じて牽引

【ウイズコロナ、アフターコロナの世界を見据えた拠点形成の進め方】

- **ロボット分野**における比類なきスタートアップエコシステムの形成を通じて、**生産性の向上を実現**するだけでなく、作業現場における**人の密集・密接等を解消**し、新型コロナウイルス感染症の罹患リスクを低減。
- 環境・ロボット分野に加え、**DX関連のスタートアップも強力に支援**。アフターコロナ時代の生活様式、働き方の構築を加速化。
- 当面は**スタートアップ関連イベントのオンライン開催を促進**しつつ、スタートアップ企業のアジアへの展開を図る。

本市のスタートアップや取組みがウイズコロナ、アフターコロナ時代の新しいビジネスシーンを牽引

- ・ ロボット技術を活かして工場、建設や介護などの現場における実装を進めることで、生産性の向上を実現するだけでなく、人の密集・密接等を解消。
- ・ AIやIoT技術を活用することで、建設業などの現場を持つ業種におけるテレワークの促進や現場における人の密接の解消に貢献。



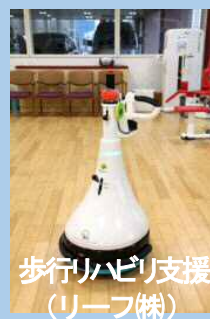
【汎用ロボットハンド】
人にしかできなかった作業をロボットで行うことを可能に

【介護ロボットの社会実装】

国家戦略特区制度を活用して、介護現場へのロボット導入実証事業に関してロボット関連技術の開発を行うとともに、**介護従事者の負担軽減、介護現場の効率化等を推進**



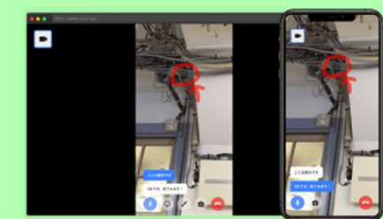
移乗アシスト装置
(㈱安川電機)



歩行リハビリ支援
(リーフ㈱)

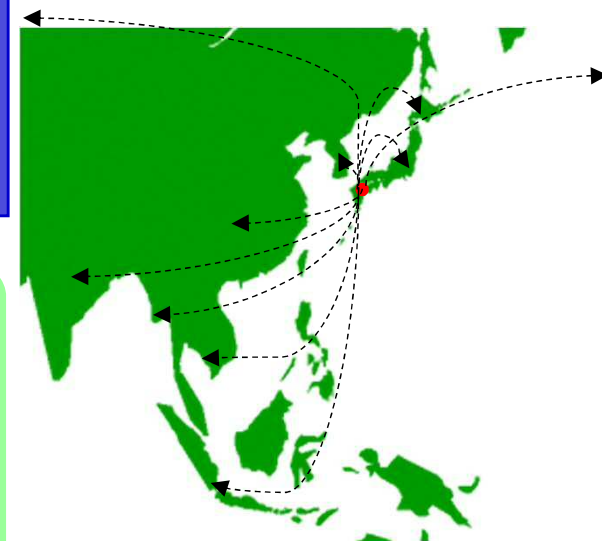


QUANDO



【SynQ Call】

新型コロナウイルス対策としてリモートワークの機運が高まるなか、現場業務が不可欠な建設業等において、**テレワークでの現場監督者の現場状況の確認や指示出しを可能に**



【イベントのオンライン実施】

説明会・メンタリングなど**全てのプログラムをオンラインで実施**。オンラインのメリットを活かして、アフターコロナ後のアジア展開につなげる。

参考資料・PRシート 本市を代表するスタートアップ KiQ Robotics(株) (キックロボティクス)

- 九州工業大学、北九州工業高等専門学校[※]の教員による学発ロボットベンチャー。
- 低付加価値労働の自動化による「省人化」を目指し、これまで人にしかできなかった多くの作業をロボットで行うことを可能とする「汎用ロボットハンド」による自動化パッケージを提供。
- 現在、QBキャピタルなどからの投資を受けており、2020年に発売予定。

大学・高専等の 技術シーズの連携

独立行政法人国立高等専門学校機構
北九州工業高等専門学校



国立大学法人
九州工業大学



創業支援施設 COMPASS小倉 によるサポート



経営支援、インキュベシ
ョンマネジャーと支援企業が
事業計画の作成、会社設立、
マッチング等を伴走支援

《ビジョン》

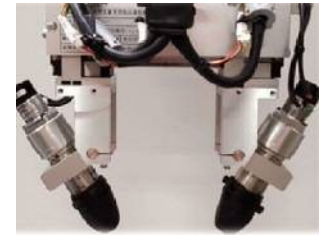
だれでも簡単に使える
産業用ロボットを世界に



CTO:西田健 九工大准教授
CEO:滝本隆 北九州高専准教授

《製品・サービス》

- 汎用ハンド
- 3Dセンシング
- 教示レスシステム
- 産業用クラウドサービス



(今後)
市内企業との連携や
本市プロジェクトの連携検討

(一例)
地方大学・地域産業創生交付金事業
(革新的ロボットテクノロジーを活用したものづくり
企業の生産性革命実現プロジェクト)

会社名: KiQ Robotics 株式会社(キックロボティクス)
役員: 代表取締役 兼 CEO(最高経営責任者): 滝本 隆
取締役 兼 CTO(最高技術責任者): 西田 健
設立: 2019年4月25日
事業概要: 産業用ロボットに関する機器の研究・開発・販売
所在: 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1AIMビル6F (COMPASS小倉内)



- 北九州工業高等専門学校に2019年に設立された起業部。『高専生が世界一かっこいい』をコンセプトに、高専発ベンチャー協力のもと、企業からの実案件に対して高専生ならではの視点からアイデアを出したり試作作りに挑戦するなどの活動を行う。
- 全国の高専生を「スタートアップ」というキーワードで集結させ新しい製品やサービスを共創する取組みとして進められている。

③ 高専起業部北九州高専を起点とした全国の高専広域連携

高専起業部の設立を含めた北九州高専での活動をきっかけとして、全国の高専を巻き込んだ広域連携での取組みがスタート。



② 北九州市という地域をの枠を超え、宮崎県自治体との社会課題解決に向けたロボット開発に着手(2019年3月～)

高専発ベンチャー・合同会社Next Technologyと宮崎県新富町が連携し、世界初の収穫ロボットの開発に取り組む



① 北九州市内の中小企業の課題解決・開発(2012年頃～)

高専発ベンチャー・合同会社Next Technology、高専生、地元中小企業による様々な課題解決・開発案件(家庭用見守りロボット、表情識別センサー付アロマディフューザー等)



④ JICAアフリカ部との連携、国際貢献(2019年5月～)

全国の高専生約50名が北九州高専に集い、アフリカの課題解決に挑むハッカソンイベントを開催。採択案件は実際にアフリカに持込み、プロトタイプの実証実験を実施(2019年5月～)



(今後)
行政課題を含めた社会課題解決プロジェクトの実施



マイクロプラスチックなどのごみ問題



土砂災害などの自然災害から市民の命を守る取組み



- **日本環境設計株式会社**は、「サーキュラーエコノミー(再生し続ける経済環境)を実現する製品」をコンセプトに、ポリエステル繊維を含む服等をリサイクルする**ケミカルリサイクル技術**を活かし、**永続的に再生・再利用し続けるビジネスモデル**を展開。
北九州市内の工場で**再生ポリエステル製造事業の研究開発**を実施。(※J-startup企業)
- **株式会社クアンド**は、「地域産業・レガシー産業のアップデート」をビジョンに、**IoT/AI等を活用した事業開発**等を行う。

《ビジョン》

あらゆるものを循環させる



私たちは、あらゆるものを循環させるために仕事をしています。
私たちの身の回りにあるもの、それが使用された後に回収、リサイクルされ、そして新たに同様の製品になり、販売され、私たちのもとに戻ってくる。これが私たちの考える循環です。循環させることによりエネルギーや素材としての石油の使用量が減り、二酸化炭素の排出削減に寄与します。さらには、それは、消費者の「環境に貢献したい」気持ちに応えることとなります。

《服から服をつくるBRING》

BRINGは古着を回収し、服から服をつくるサーキュラーエコノミーを実現するブランドです。
様々な技術サプライチェーンを構築し、**服のごみから、石油由来原料と同等品質のポリエステル製品をつくることに成功しました。**



取締役会長
岩元 美智彦



代表取締役社長
高尾 正樹



再生ポリエステル製造事業プラント
(若松区響灘地区)

設立: 2007年1月
資本金: 31億200万円(資本準備金含む)

《ビジョン》

地域産業・レガシー産業のアップデート



その土地の産業のありかたはそこで暮らす人々そのものに大きく影響を与えます。旧態産業に対し、ハード/ソフト両面の最新技術と新しい経営視点を提供することでデジタルトランスフォーメーションを起こしていく。新しい価値を創り出す企業が地方にたくさん生まれれば、そこに暮らす人々が幸せになり、世界を変えていくことができる、そう信じて成長を続ける北九州発のスタートアップです。

《製品・サービス》

レベニューシェア事業(クライアント型)

クライアント企業とともにデジタルトランスフォーメーションによる事業変革を起こす。双方がリソースを出し、生じた利益を配分する。
・岡野バルブの次世代バルブメンテナンス事業
・福岡ひびき信用金庫のATM不正検知システム
・クラウン製パンの技術者育成システム

自社プロダクト事業

現場コミュニケーションプラットフォーム“SynQ” 工事現場とオフィスとをARビデオチャットでつなぎ、図面を共有しながら指示・管理をすることが可能に。建設現場の人手不足を解決し、将来的には現場仕事のあるすべての領域への展開を目指す。北九州市発注の工事でも実証実験を行っている。

設立: 2017年4月25日
資本金: 3,000,000円



代表取締役
CEO
下岡 純一郎



代表取締役
CTO
中野 雅俊

- **リーフ株式会社**は、「ひみつの道具をつくりだし、笑顔あふれる未来をつくる」をミッションに掲げ、**介護ロボット等を開発**。本市の介護ロボットプロジェクトにも参画し、**歩行リハビリ支援ロボット**や**ベッド搬送アシストロボット**など独自のロボティクス技術を活かした開発を進め、**利用者に優しい次世代介護システムの構築に取り組む**スタートアップ企業。
- **Houyou株式会社**は、「ヒトと社会の営みをITシステムが生み出す価値で地域社会を豊かに」をビジョンに掲げる北九州市発のIT企業で、**訪問診療回診システム**、**ネットワーク監視システム**を始めとしたサービスを展開。

《ミッション》



ひみつの道具をつくりだし、笑顔あふれる未来をつくります

リーフ株式会社は、**安心・安全・快適**な社会を実現するために少数精鋭の小さな世界企業を目指します。**ニッチなところからコンセプトづくりを行い、プロトタイプ（試作開発、実証試験）をメインにいままでにありそうでなかった製品を「考え」、つくり出します。**弊社単独（ひとつの会社）では成り立たないため、個々の能力に加え協力者（産学官民（国内外））の力添えをもとに事業を進めます。

《歩行リハビリ支援ツールTree》

Treeは、早い時期から歩行練習を楽しく行うために、映像と音声で分かりやすく案内し、一緒に歩いてサポートしてくれるロボット。



医療リハビリ
国内外の病院へ導入



介護
北九州市内の施設で実証

代表者: 森 政男
設 立: 2008年1月31日
所在地: 福岡県北九州市小倉
 北区三萩野2丁目8番
 17号Tビルディング1F
事業内容:
医療機器・システム、リハビリテーション支援機器・システム、介護福祉機器・システム、産業用機器の開発、製造、販売、自社開発基本技術（球体駆動モジュールなど）の研究

《ビジョン》



Houyou株式会社

ヒトと社会の営みをITシステムが生み出す価値で地域社会を豊かに！！

私達は、人（人材）＝資産のコンセプトのもと、その「人」と「人」が営む空間であるビジネスシーンで求められる価値を、**ITシステム化支援及びシステム製作サービスとITシステムを利用したサービス事業**をもって、提供するIT企業です。



代表取締役社長
福岡 広大

《主なサービス》

- 「IOT SAFETY BUSINESS」 IoT事業（衛星通信網による次世代IoT）
- 「DATA SCIENCE」 データサイエンス事業（AI・RPAを駆使したソリューション提供）
- 「SI BUSINESS」 SI事業（システム開発・運用保守）（インフラおよびネットワーク構築・保守）（BOP: 施設運営代行業務サービス）
- 「ONSITE ENGINEERING BUSINESS」 オンサイトエンジニアリング事業（SESソリューション・人材派遣サービス）

本社オフィス: 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1(AIMビル6階COMPASS小倉)
台場オフィス: 東京都江東区青海2-7-4 the SOHO 525
資本金 : 200万円
設 立 : 平成26年12月1日
事業内容: 情報システムの製造および販売イベント企画及び実施に関する事業
従業員数: 40名

参考資料・PRシート 公害克服から、SDGsの先進都市への歴史

- 昭和30年代に発生した**深刻な公害を、市民・行政・企業が一体となって克服**。これを契機に本市は**環境国際協力、リサイクル政策**などを積極的に推進。
- 現在では、「**SDGs未来都市全国第一号認定**」や「**OECDによる世界のSDGsモデル都市**」に選定されるなど、SDGs推進における先進自治体として、国内外から高い評価。

昭和30年代
半ば

昭和50年代
後半

昭和60年代

平成4年

平成9年

平成20年

平成28年

平成30年

急激な経済発展、深刻な公害

公害克服

環境国際協力の推進

地球サミット(リオデジャネイロ)にて
国連地方自治体表彰(世界12都市、日本で唯一)

北九州エコタウン全国第1号承認
⇒循環型社会づくりへ

環境モデル都市全国第1号選定
⇒低炭素社会づくりへ

G7北九州エネルギー大臣会合開催

政府によるSDGs未来都市の選定

OECDによる
「世界のSDGsモデル都市」の選定



北九州市アジア低炭素化センター

- **アジア地域の低炭素化を通じて、地域経済の活性化を図る**ための中核施設として**2010年に設立**。
- 2050年にCO₂ 排出を市内で2005年比50%（830万トン）、アジア地域で150%削減（2,340万トン）を目指し、**アジア諸国への都市環境インフラパッケージ**関連のプロジェクトを展開。
- 2010年の設立以来、**16の国と地域、80都市、211の現地プロジェクト（約196億円）**を支援。

北九州市海外水ビジネス推進協議会

- 官民連携からなる協議会で、**海外水ビジネスに向けた取組みを積極的に推進**。
- **海外現地ニーズの調査、官民連携による海外展開**の手法や具体的な案件形成に向けた検討及び推進等を目的に活動。
- **2010年の設立**以来、**71件、約155億円のビジネス案件を受注**。

北九州市アジア低炭素化センター

2010年に、アジア地域の低炭素化を通じて地域経済の活性化を図る「アジア低炭素化センター」を開設。アジア諸国への都市環境インフラパッケージ関連のプロジェクト展開。

過去10年間の現地プロジェクト実績
(2010～2019年度)

実施地域

16の国と地域
80都市

プロジェクト数

211プロジェクト
(約196億円)

【センター長】小宮山 宏(元 東京大学総長)
【支援企業数】118社



都市環境インフラ輸出の拠点
アジア低炭素化センター



廃棄物管理向上支援事業
(フィリピン・ダバオ市)



生ごみコンポスト化事業
(インドネシア・スラバヤ市)

北九州市海外水ビジネス推進協議会

2010年に、海外での水ビジネス展開を目的とした官民連携の組織として設立。民間の高い技術力が強み。

過去10年間の受注実績
(2010～2019年度)

受注件数

71件

受注額

約155億円

【会長】白川 敬（北九州商工会議所 副会頭）
【企業会員数】146社



ベトナム・ハイフォン市水道の
マッピングシステムを市内企業が受注



市内企業が開発した管渠検査ロボット
“もぐりんご”活用の様子
(ベトナム)

参考資料・PRシート 海外展開における北九州市の優位性

- 環境国際協力の分野では、1985年以降、公害を克服した中で培ってきた技術・ノウハウを諸外国に伝承。
世界165の国と地域から本市へ9,754人の研修員を受け入れ、本市から専門家を211人派遣。(2020年3月31日現在)
- 上下水道の国際協力は、1990年にJICAの要請を受けて、アフリカ・マリ共和国に職員を水道専門家として派遣するなど、世界156の国と地域から6527人の研修員を受け入れ、世界13カ国にのべ204人の専門家を派遣。(2020年3月31日現在)



循環経済分野における連携協定締結
(中国・天津市)



高性能排水処理システムの普及支援事業
(ベトナム・ハイフォン市)



循環型都市協力推進事業
(中国・大連市)



JICA九州



JETRO北九州

カンボジアでの技術協力の様子



空気消臭除菌
ビジネス構築
(香港・台湾)

JICA草の根技術協力
(ミャンマー・マンダレー市)

管渠検査ロボット
“もぐりんこ”
活用の様子
(ベトナム)



ベトナムに完成した
U-BCF



廃棄物管理向上支援事業
(フィリピン・ダバオ市)



廃棄物管理改善事業
(ブノンペン都)



海洋プラスチック削減に向けた
連携強化に基づく事業
(タイ、カンボジア)

電気電子機器廃棄物
リサイクル事業
(インド)

島嶼地域における
包括的資源循環構築事業
(パラオ)

生ごみコンポスト化事業
(スラバヤ市)



- **ホラシスアジアミーティング**は、スイスのチューリッヒに本拠を置く世界的なシンクタンクHORASISが主催し、多岐にわたる分野のリーダーが集い、**アジアの将来像について議論**を展開。
- 本市が**OECDからアジア地域で唯一、「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定**された都市として環境ビジネスを牽引している実績が評価され、**日本で初めて誘致に成功**。
- **2021年の秋に開催**。アジア地域を中心に、**投資家や企業CEO等400人超が参加予定**。
- **環境・経済分野を中心としたテーマを設定**し、4つの全体会・30を超える分科会では**各界のビジネスリーダーが登壇**し、活発な意見交換がなされる。
- 本市の強みである**環境国際ビジネスのほか、スタートアップエコシステムの取組をPR**し、参加者間や本市企業とのネットワーク作りや情報交換の場とすることで新しいパートナーシップを構築し、**環境・経済分野における国内外からの投資につなげる**。

2019ホラシスアジアミーティング (ベトナム)



2019年8月27日、
ホラシスと「2020ホラシスアジア
ミーティングの開催都市選定に関
する基本合意書」を締結。

Horasis
The Global Visions Community

●ホラシスとは・・・

スイスのチューリッヒに本拠を置く世界的なシンクタンク。会長のフランク・ユルゲン・リヒター氏は2001～2004年の世界経済フォーラム理事。

「Horasis」はギリシャ語で「to see, as in a vision(未来像を抱く)」という意味で、会議を通じて持続的な未来のためにビジョンを設定することを目指している。

中国、インド、東南アジアに焦点を当てたものと年次総会を含め、4つの会議を開催。

CxOとなる高度人材の獲得支援

北九州市に拠点をおく スタートアップ

資金政策、営業強化やマーケティング手法、海外進出など、事業拡大に必要な人材を戦略的に獲得できる。

高度人材の
ノウハウを副業で
取り込みたい

CFOに外部
人材を起用
したい

雇用形態に
こだわらずCFO
などの必要な外部
人材を活用して活躍
する市内のスタート
アップも増えている。



外部人材を柔軟に活用する
(株)クアンド



スタートアップの 人材獲得支援拠点 「COMPASS小倉」

人材活用
戦略の啓発
人材獲得
ノウハウ提供

北九州市がCOMPASS小倉を
拠点とし、国・県の人材支援事業
や、民間サービスと連携して首都
圏などの高度人材とスタートアッ
プのマッチングを促進

北九州市の
ネットワーク
による人材募集

UIターン事業、副業・兼業を通じた CxO人材獲得支援

- 北九州市のUIターン事業
セカンドキャリア支援プロジェクト
(シニア高度人材の移住・転職支援)
- 福岡県プロフェッショナル人材センター
- 福岡特化型移住転職エージェント
(株)YOUTURNや、山口フィナンシャルグループの
(株)YMキャリアを始めとする民間サービス

首都圏等の高度人材

北九州市の持つ行政・民間の人材サー
ビスや大手企業とのネットワークにより、
ベンチャー企業のCxO、大手企業の新規
事業開発、経営の右腕などのノウハウを
持つ人材を募集。

縁のある地域
に貢献したい

経験を活かして
UIターンしたい！



北九州市東京事務所に開設
しているUIターン相談窓口



DIAGONAL RUN TOKYOにて福岡移住 &
副業をテーマに開催された「福業会議」



山口・広島・福岡に
根差して、経営人材、
副業・兼業人材の
マッチングを展開
するYMキャリア

事業拡大に必要な人材採用戦略に寄り添う 北九州市職員によるリクルータープロジェクト

国立12高専とのネットワーク

約1,300名～
約1,700名が
毎年就職

北九州
久留米
有明

宇都宮
徳島
大島商船

佐世保

熊本
鹿児島

大分
都城

<市役所学校同行訪問>
九州・山口全域対象

<A社の北九州拠点人数推移>

60校
延べ
90回以上
(A社への27年度実績)



新卒中心に
108人
にまで成長



市長の
トップセールス
教員との関係構築



OBOGの存在と活用
インターンシップ実施

2018年度から、延べ500人の
職員が、九州・山一円の大学・高専・工業高校を104校訪
問し全ての学校と学生の就職
支援に関する協力体制を構築
し、地元企業と学生との交流会
等の接点を増やす活動を実施。
市長自らもトップセールス。

なかでも、毎年多数の理系人
材を送り出す12高専のネット
ワーク等により採用実績を順
調に伸ばすIT企業も増えてき
ている。

参考資料・PRシート 実証ワンストップセンター

- **実証ワンストップセンター**は、北九州市内において研究主体が高度な産業技術を活用した実証実験を実施する際の支援を強化し、**社会課題の解決や新規ビジネスの創出に繋げる**ことを目指して、国と共同で開設。
- 本センターは、平成30年10月23日に開催された国家戦略特別区域諮問会議の審議を経て、内閣総理大臣の認定を受けた「**国家戦略特別区域・区域計画**」に基づき設置。
- 実証ワンストップセンターの支援対象者は北九州市内で実証実験の実施を希望する企業、大学、研究機関その他団体を対象に実施。

